

2024年度事業報告書

自 2024年4月 1日

至 2025年3月31日

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
2024年度 事業報告書
(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

1 博覧会開催に向けた万全な準備

(1) シグネチャープロジェクトの具体化

ア プロデューサーと協働してテーマ館の建築・展示の施工ならびにイベントの実施計画を完成させ、会期中の運営に向けた体制整備・スタッフトレーニングを実施する
2024年4月13日および7月8日にプロデューサー会議を実施した。また、4月19日よりシグネチャーパビリオンのアテンダント募集を開始した。さらに、6月26日の国際参加者会議2024年夏（IPM 2024 Summer）においてテーマ事業プロデューサーのセッションを実施し、テーマ事業と公式参加者の連携を呼び掛けた。

10月7日および11月17日にプロデューサー会議を実施した。

2025年1月14日にシグネチャーパビリオンのアテンダント募集を終了した。さらに、1月16日の国際参加者会議2025年（IPM 2025）のPavilion Showcase Forumのセッションにおいてテーマ事業プロデューサーによる発表を実施し、公式参加者との連携を呼び掛けた。

イ ますますの万博の機運醸成を図るため、テーマ事業の進捗をウェブやイベントで発信する等、テーマ事業の効果的なPR活動を展開する

2024年4月13日の開幕1年前イベントにおいて、テーマ事業プロデューサーのトークセッションを実施した。また、7月8日のプロデューサー会議において、テーマ事業プロデューサーの大屋根リングでの写真撮影を実施し、広報活動に活用した。

9月24日に河森プロデューサーによるユニフォーム発表会を実施した。

10月17日に河瀬プロデューサーによる近鉄電車ラッピング車両お披露目会を実施した。

10月30日にNewsPicksによるウェブ番組「WeeklyOchiai」で8名のテーマ事業プロデューサーが登壇するプログラムを公開した。

11月26日に福岡プロデューサーによる展示実機初公開・メディア向け取材会を実施した。

12月12日に宮田プロデューサーによるアテンダントスタッフユニフォーム発表会を実施し、2025年3月27日には宮田プロデューサーによるパビリオンの内覧会を実施した。

(2) 未来社会ショーケース事業の具体化

ア スマートモビリティ万博

会場内外における人荷の輸送・移動等における未来技術の実証・実装にあたり、企業・団体等との連携をさらに強化し、事業を準備する

会場アクセス船を担う事業者（岩谷産業株式会社）との協賛契約を2025年3月14日に締結した。また、関係者モビリティについて、2024年4月26日に株式会社アキボウと、2025年3月5日にLIME社とそれぞれ協賛契約書を締結した。さらに、外周バス事業を担う大阪市高速電気軌道株式会社・関西電力株式会社・株式会社大林組・株式会社ダイヘンと2024年12月26日に協賛契約を締結した。会場内で主に長距離歩行が困難な方を対象としたパーソナルモビリティにかかる協賛契約書を2025年1月31日にダイハツ工業株式会社と締結した。また、同事業にかかる運営委託業者を公募により決定した。

【空飛ぶクルマ】

会場内ポート運営については、オリックス株式会社と、運航事業については、ANAホールディングス株式会社・Joby Aviation, Inc.、株式会社 Soracle、丸紅株式会社、及び株式会社 SkyDrive と実施内容等について協議・調整を行った。また、空飛ぶクルマが実装された未来社会を体感できる展示施設「空飛ぶクルマ ステーション」の運営に向け関係者と協議・調整を行った。

イ デジタル万博

来場者体験の高度化や会場運営の効率化に資するデジタル技術の実証・実装にあたり、企業・団体等との連携をさらに強化し、事業を準備する

来場者体験の高度化や会場運営の効率化に資するデジタル技術の実証・実装にあたり、企業・団体等との連携をさらに強化し、事業の具体化を図っている。

無線 LAN 環境・ローミング基盤の Wi-Fi アクセスポイント協賛台数増加について、シスコシステムズ合同会社と2024年10月11日に変更契約を締結し、会場内への設置について2025年3月18日に完了した。自動翻訳システムについて、新たに「SoundUD コンソーシアム」（代表企業：ヤマハ株式会社）と2024年11月15日に、株式会社みらい翻訳との協賛契約に株式会社 NTT ドコモを加えた三者契約を2025年1月24日に締結した。

また、事業を支える各アプリの名称について、来場者向けパーソナルエージェント（日本電信電話株式会社協賛）は「EXPO2025 Personal Agent」、自動翻訳システム（TOPPAN ホールディングス株式会社協賛）は「EXPO ホンヤク」等にそれぞれ決定した。

ウ バーチャル万博

世界中から参加できるインクルーシブな万博の実現に向け、企業・団体等との連携を強化し、バーチャルコンテンツの制作を進める

バーチャル万博の実現に向け、IPM 2024 Summer などにてバーチャルパビリオン展示制作に向けた周知やサポートを行い、出展者によるコンテンツ制作を推進するとともに、バーチャル催事の募集と内定通知を行った。

また、IPM 2025 において、バーチャル万博の制作スケジュールについて周知を行い、バーチャル万博オープン日を一般向けに公開した。

EXPO共創事業については、新たに2024年4月10日に東日本旅客鉄道株式会社、5月24日にPeatixJapan株式会社、10月7日に株式会社プルインターナショナル、11月14日にハイセンスジャパン株式会社と協賛契約を締結した。

さらに会期中の交流イベントに関する運営事業者を公募し、株式会社セレスポを最優秀事業者として選定した。

エ アート万博

会場の景観や歩径路などを、先進エンタテインメント技術の実証・実装する催事の場と捉え、引き続き企業・団体等との連携を強化し、事業を準備する

【ウォータープラザ水上ショー】

協賛者であるサントリーホールディングス株式会社、ダイキン工業株式会社と実施に向けた設置物、実施内容、運営計画等について協議・調整を行った。

2024年7月8日に、起工式とメディア説明会を実施し、ショーの概要を発表した。また、9月25日超早割抽選にあわせイベント予約を開始するとともに、12月24日にショーの詳細情報としてキャラクターデザイン、声優、昼の演出等について発表した。

ウォータープラザへの水入れが完了し、ショー機材の調整・演出テストを行うとともに、現場での運営オペレーションの確認・調整を行った。

【静けさの森インスタレーション】

協賛者であるアサヒグループジャパン株式会社と実施内容等について協議・調整を行った。また、個々のアーティストとの作品制作の契約を締結し、実施委託事業者とともに個々のアーティスト作品制作の設置に向けた調整、設置工事を行った。2025年3月12日に参加アーティストの記者発表会を行った。

【プロジェクションマッピング事業】

プロジェクションマッピング作品の公募に向け、実施委託事業者を決定。2024年11月15日より作品募集を開始した。

募集した作品の選定とともに、実施に向けた現地への機材設置・調整を行った。

【パブリックアート事業】

2024年12月18日、株式会社アートローグ（大阪関西国際芸術祭）をはじめとする各者と協賛契約を締結した。会場への設置に向け、個々のアーティストと場所や内容等の確認・調整を行いながら、順次設置を行った。

オ グリーン万博

万博運営および経済活動全般における環境負荷低減技術の実証・実装にあたり、企業・団体等との連携をさらに強化し、事業を準備する

万博運営および経済活動全般における環境負荷低減技術の実証・実装にあたり、企業・団体等との連携をさらに強化し、具体的な取り組みについて検討し、新たに、積水化学工業株式会社、関西電力株式会社、名古屋大学、九州大学、エア・ウォーター株式会社・戸田工業株式会社と協賛契約を締結した。また、ENEOS株式会社と協賛契約締結に向けた協議・調整を行った。なお、協賛契約を締結した事業について、施設を完成し運用を開始した。さらに、カーボンリサイクルファクトリーの竣工式を2025年3月13日に実施した。

会場内で発生する廃棄物の削減対策として、建物、建材・設備、什器・備品のリユースを促進するためにリユースマッチングサイト「ミヤク市！」を構築し、3月からリユースの公募を開始した。またプラスチックの代替として燃やすごみに含まれる、リサイクルが難しい紙が増えることを想定し、難再生古紙の再資源化に向けて、コアレックス信栄株式会社と1月28日に契約を締結した。

さらに、脱炭素・資源循環に関する取り組みについて、1月31日にシンポジウムを開催し、取り組み状況について広く情報を発信した。

その他、小中高生向けの展示と体験型プログラム及び環境・建築に関する会場内ツアー事業「ジュニア SDGs キャンプ」については、会場施設であるサステナドームの内装工事を実施し、2025年3月に完成した。また、協会主体で実施する個別プログラムについて、テスト授業等を通じて作成を進め、2025年3月に教材を完成した。

カ フューチャーライフ万博

会場内「フューチャーライフヴィレッジ」での取組を具体化するとともに、来場者が未来の都市や未来の食・ヘルスケア等を体感できる先進技術の実証・実装にあたり、企業・団体等との連携を強化し、事業を準備する

【未来の都市】

運営・広報プロモーションの委託事業者として公募選定した大日本印刷株式会社及び株式会社コングレの共同企業体と2024年4月16日に契約締結した。

また、共通展示に係る展示工事、付属工事、一部外構工事及び撤去工事共通展示

の施工の一般競争入札を6月25日公告、7月18日開札した。

さらに、メディア関係者向けのパビリオン展示内容発表会を7月17日に大阪にて実施した。

メディア関係者向けのパビリオン展示内容発表会を第1弾（2024年7月17日大阪）、第2弾（2024年8月28日東京）、第3弾（2024年12月3日東京）を立て続けに実施した。

協会委託の運営スタッフ、アテンダントの内定式を11月30日コンGRESクエア中之島にて実施し、100名が参加した。

11月にパビリオンの建屋外観が完成し、11月30日より展示エリア施工を開始し、2025年1月末に完了した。

「未来の都市共通展示の企画・設計及び映像コンテンツの企画・制作等業務」に展示工事等調整業務を追加する変更契約を12月に締結した。

2025年3月10日に、メディアも招いて、未来の都市パビリオンの完成記念式典および内覧会を開催した。

【フューチャーライフエクスペリエンス】

企画・展示運営業務委託事業者のFLE推進共同企業体（大日本印刷株式会社・日本コンベンションサービス株式会社）と2024年4月2日に2024年度委託契約を締結した。

2023年度から引き続き常設展示（協賛者）及び期間展示・ステージ（会場参加者）の募集を実施。会場参加者の内定者へは4月7日から順次FLVポータル（本申込手続きを行うサイト）への案内を開始した。

なお、参加費用の入金が確認できた参加者名については8月28日に第1弾として協会HPで公表した。

12月15日に参加募集を終了。常設展示7枠、期間展示154枠、ステージ190枠が決定した。

広報プロモーションについて、2025年1月20日に期間展示とステージの第6弾参加者を発表。1月21日に道修町オフィスにて常設展示の出展企業・団体のプレス発表会、また2月12日に東京でFLV全体の展示交流会を実施した。

3月25日にFLV建物引渡しが完了し、協賛者・参加者による内装・展示準備を開始した。3月19日から28日までFLE参加者向相談会・展示台見学会を実施した（@ExBox）。3月末よりFLV内へのCDC物品の搬入・設置を開始した（4月上旬終了予定）。

（3）催事計画の具体的推進

ア 催事基本計画に基づき、万博に相応しい催事の企画内容を決定の上、その推進体制を構築し、実施に向けた準備を行う

万博にふさわしい多彩な催事を検討することを目的に設置した「大阪・関西万

博催事検討会議」の第5回会議を2024年4月9日に開催し、イベントの内定発出や編成状況、一般参加催事の選考状況、今後のスケジュールについて各委員からご意見をいただいた。

第6回（9月3日）第7回（12月2日）では、イベントの内定状況や編成状況、協会主催者催事（One World, One Planet.）（Physical Twin Symphony）（万博サウナ）の具体的な企画内容の説明、会場視察（EXPO アリーナ、EXPO ホール等）を実施し、各委員からご意見をいただいた。

第8回（2025年2月25日）は夢洲会場で開催し、開会式やアート万博の進捗状況、イベントの予約状況などについて報告を行い、各委員からご意見をいただいた。また、記者との交流会も行った。

イ ナショナルデー及びスペシャルデーなどをイベントガイドラインに基づき、公式参加者（国・地域・国際機関）を募集し、それを推進する

ナショナルデー及びスペシャルデー、公式参加者自主催事の追加申込について、順次内定を発出した。2024年6月25日・26日に開催された IPM 2024 Summer において、開閉会式、ナショナルデー・スペシャルデー（儀典含む）、自主催事についての説明と質疑応答を行った。

また、開会式を2025年4月12日に執り行う事を発表した。

12月10日時点で156か国・地域・国際機関のナショナルデー・スペシャルデーを公表した。

11月にはナショナルデー・スペシャルデーの実施にあたり、当日の代表団の動き、各種関連ガイドラインの情報も盛り込み、1冊で実施のためにまとめた「ナショナルデー・スペシャルデー基本プログラムガイドブック」とナショナルデー・スペシャルデーや自主催事について、催事の実務担当者向け ND ホールでの開催を例に、当日のスケジュール、イベント開催のヒント、AD 証等の関連ガイドラインによる注意点をまとめた「催事制作ガイド」を発出した。

2025年2月末から、公式参加者の要望に応じて、万博会場にて ND ホールをはじめとした各催事施設を案内した。そして、各公式参加者とナショナルデー・スペシャルデーなどの実施について具体的な打合せを進めた。

ウ 開会式実施計画の策定及び実施準備を行う

開会式は万博のテーマや行催事の思想が集約された象徴的なイベントであることから、プロポーザル方式により事業者を公募し、2024年5月31日に事業者を決定するとともに、開会式実施本部会議を立ち上げ、事業者とともに実施計画策定に向けた協議・調整を行った。

事業者決定後、開会式実施本部会議を中心に開会式の実演コンテンツや映像コ

ンテンツの内容を決定した。

国内外へ発信し、参加者へ「大阪・関西万博 2025」のメッセージを伝え、感動を与える式典内容をめざした。NHKの中継放送も決定した。

開会式に向け、ステージ施工などを行ったほか、テクニカルリハーサルや音楽、ダンスのリハーサルなど開会式の本番に向けた準備を進めた。

エ 閉会式基本計画及び実施計画策定に向けた準備を行う

愛・地球博の「閉幕祭」を参考に、閉会式の必要コンテンツの整理を実施。組織体制の構築と役割分担、予算の配分、テーマ・方針・全体スケジュールの検討に入った。

オ 催事編成カレンダーの策定

2024年4月9日にイベント情報（第1弾）として、102か国・地域、4国際機関のナショナルデー、スペシャルデー開催日を公表した。

また、6月20日には第2弾として新たに公表の承諾を得られた31か国のナショナルデーを公表した。

加えて、ジャパンデーの開催日（2025年7月3日）を公表した。また、編成に余裕があるポップアップステージ、EXPOアリーナ、新たなイベントスペースについて、5月31日から一般参加催事の第2次募集を開始した。

9月3日に公表の許諾を得られた企画に関し、主要イベント施設のイベントカレンダーを公表した。

その後も主要なイベントは個別にホームページで紹介しているほか、公式アプリ「EXPO2025 Visitors」で適宜公表した。

開幕1ヵ月前を控えた2025年3月13日に「イベントカレンダー」を公表した。

(4) テーマウィークの推進

ア 協会主催のテーマウィークプログラム「アジェンダ 2025」の実施に向けた準備を行う

2024年5月24日にアジェンダ 2025 主催プログラム概要を、テーマウィーク全体協賛者のプレス公表にあわせ、パネルディスカッション形式で発表した。

また、6月25日に開催したIPM 2024 Summerにおいて、公式参加者のテーマウィーク事業に対する理解を深めるとともに、各パビリオンでテーマウィークプログラムを企画実施するモチベーションを高めてもらうため、「プレテーマウィーク」を実施した。

さらに、アジェンダ 2025 主催プログラムのモデレーター、パネリストの検討し、招聘の準備をすすめた。

11月21日に、アジェンダ 2025 主催プログラムにおける最終企画会議を実施し、企画内容を固めるとともに、招聘準備をすすめ、全モデレーターを決定、パネリストについても目途をつけた。

また、決定した企画内容を元に、モデレーターも含めてプログラム進行台本の準備を進めた。

さらに、決定したモデレーター・パネリストと順次、旅程等の調整を進め、円滑な実施にむけた準備を行った。

イ テーマウィークの全体事務局を設置し、主催者に加え、公式参加者、政府・自治体、共創事業参加者、出展企業などのテーマウィークプログラムも集約し発信する

2024年6月13日に、テーマウィーク事務局の公募・選定をすすめ、事務局を設置し、それ以降、テーマウィークの実施に向け、事務局に各種分科会を設置し、広報やテーマウィークスタジオなどに係る準備を開始した。

また、7月1日に、公式参加者（トラック1）のテーマウィークプログラムエントリー受付、審査を開始するとともに、公表にむけたプログラム情報の集約を開始し、その他のトラックについても、順次各トラックの事業所管部局を通じてエントリー受付、審査を開始した。

9月25日にテーマウィーク特設WEBサイトを開設するとともに、7月より開始していたテーマウィークプログラムエントリーを経て準備が整った83プログラム（アジェンダ 2025 主催プログラム含）について公表・発信し、プログラム実施主催者との実施にむけた調整に着手した。

その後も集約をすすめ、2025年1月10日には147プログラムをカレンダー形式で、同サイトにて公表・発信するとともに、1月15日開催のIPM 2025において、全公式参加者にさらなるテーマウィークへのプログラムエントリーを呼びかけるなどプログラムの充実を努め、約300プログラムの開催見込みとなった。

2024年11月には、テーマウィークプログラムの主要会場の一つとなる「テーマウィークスタジオ」について、工事に着手し、2025年2月に完成した。

ウ 全国からテーマウィークの会場外関連プログラムとして参加できる「テーマウィーク コネクト」の集約を進め発信する

テーマウィークコネクトの受付・審査を継続実施し、多くの企業・団体等との問い合わせ対応を行った。

また、2024年5月16日に、内閣官房及び経済産業省とも、テーマウィークコネクト参加の促進について意見交換を実施し連携を呼びかけた。

テーマウィークコネクト登録にかかる判断要素について、より魅力的なプログラ

ム参加につながるよう、プロデューサーなどとも連携・工夫しながら、受付・審査を継続実施した。

9月25日のプログラム公表では、6プログラムの公表を行うとともに、内閣官房や経済産業省等、またイベント関連会社等との連携もすすめ、10プログラムを超える参加を見込むこととなった。

(5) 会場整備

ア 会場施設の建築工事完了

管理本部（西棟・中央棟）については、2024年6月19日に工事が完了し、タイプB及びタイプCパビリオン計9棟についても、7月2日までに工事が完了した。

大屋根リングは、柱・梁等の基本構造が2024年8月21日に完成し、各工区の施設及び大催事場、小催事場、迎賓館、シグネチャーパビリオンとともに、2025年2月28日までに建物工事が完了した。

若手建築家設計施設（休憩所・トイレ等）20件については、2024年6月20日までに全ての工事請負契約を締結し、順次工事を進め2025年3月31日までに工事が完了した。

各工区のランドスケープ工事については、会場全体の状況に合わせて随時工事着手し、2025年2月28日までに完了した。

静けさの森工区は、中央部の植樹が2024年6月7日に完了後、周辺部の植樹に向け造成等に着手し、2025年2月28日までに完了した。

イ 仮設インフラ工事の完了

会場基盤整備（園路基盤整備、雨水管・污水管等設置）は完了し、2024年7月17日に水道の仮使用（施設検査や散水等に用途に限定）を開始した。

電気は2024年3月25日に万博会場内の特高変電所・高圧電力ケーブルの充電が完了し、5月以降から順次、準備が整った施設から送電を開始した。

会場基盤整備（園路基盤整備、雨水管・污水管等設置）は完了し、12月2日に熱（冷・温水）、12月27日に給水及び下水（污水）の供用を開始した。

ウ 環境影響評価書・事後調査計画書に基づく事後調査の継続実施

公表済みの事後調査計画書に基づき、会場予定地及びその周辺、舞洲万博P&R駐車場予定地の鳥類の飛来状況を調査した。また、2024年4月に会場予定地からの建設作業騒音、6月に舞洲万博P&R駐車場予定地からの建設作業騒音・振動を測定した。

公表済みの事後調査計画書に基づき、建設工事中における鳥類の飛来状況を含め、環境影響要因を調査し、調査が終了した陸域動物の調査結果を事後調査報告書とし

ととりまとめ、2024年12月27日に公表した。

エ 会場内施設等の維持管理に関する発注、維持管理業務の開始

会場建設費で整備した施設や設備について会期中及び会期前後で必要となる維持管理（巡回、点検、植栽管理等）を行うため、2024年6月5日に業務委託契約を締結した。7月から完成引渡しを受けたタイプB及びタイプCパビリオン等の巡視点検、通信用接続ますの排水作業、会場内施設の確認作業を開始した。

大屋根リングの屋上緑化について会期中の維持管理、植替作業を行うため、7月29日に業務委託契約を締結した。

完成引渡しを受けた施設から順次維持管理（巡回、点検、植栽管理等）業務を開始した。2025年1月6日から管理本部中央棟施設管理事務所に業務受託事業者が常駐し業務を実施した。

大屋根リング屋上緑化の維持管理を2025年3月1日から実施するため、2月20日から管理本部中央棟施設管理事務所に業務受託業者が常駐し、業務を開始した。

(6) 来場者輸送対策の実施

ア 来場者輸送対策協議会にて、施設管理者や交通事業者等とともに輸送計画を具体化し、その推進を図る

7月19日に第6回協議会を開催し、具体方針（第3版）における課題等の検討を進め、「大阪・関西万博来場者輸送具体方針（アクションプラン）第4版」を策定した。

12月10日に第7回協議会を開催し、具体方針（第4版）における課題等の検討を進め、「大阪・関西万博来場者輸送具体方針（アクションプラン）第5版（最終版）」を策定し、万博開催期間中の輸送状況等を報告するための「輸送対策部会」の設置を決定した。

また、個別の課題検討のために各種の会議体を設置し、検討を進めた。

<来場者輸送対策協議会の関係検討会等>

4月22日に、2023年に設置した「大阪・関西万博 水上交通対策検討会」（第2回）を開催、6月6日に同検討会（第3回）を開催し、万博開催時における、安全な運航確保のための運航方法の検討、浮棧橋及びその周辺における安全対策等について取りまとめを行った。また、会期中の運航に必要な調整を行い、水上航路を活用した大阪・関西万博会場への安心・安全な来場者輸送を実現することを目的に、6月28日から7月11日にかけて「大阪・関西万博夢洲北岸浮棧橋 第3次募集」を実施した結果、計15者の浮棧橋使用意向があった。11月13日に、「夢洲北岸浮棧橋の使用許可申請に係る説明会」を開催し、水上航路を活用した大阪・関西万博会場への安心・安全な来場者輸送を実現することを目的に、夢洲北岸浮棧橋の使用許可申請に向けた説明会

を実施した。

4月23日に、2023年に設置した「大阪・関西万博 夢洲会場タクシー運用ルール検討会」(第3回)、10月31日に同検討会(第4回)を開催し、タクシー乗降場レイアウト、万博交通ターミナルへの入構方法の周知の進め方などについて取りまとめを行い、検討会を終了した。

4月25日に、大阪府・大阪市とともに、日帰り教育旅行で訪れる来場者の「安全」・「安心」な移動環境等の実現を目指し、日帰り教育旅行の輸送について、関係機関により必要な検討と調整を行うため、「大阪・関西万博 日帰り教育旅行の輸送に関する検討会」(第1回)、8月7日に同検討会(第2回)、2025年1月30日に同検討会(第3回)を開催し、日帰り教育旅行の来場需要及び交通手段が確保されたことを示すとともに、団体入場ゲートの設置や暑熱対策の実施等、会場側の受け入れ体制について取りまとめを行った。

5月30日に、2月に設置した「大阪・関西万博 大型荷物持ち込み対策検討会」(第2回)、12月4日に同検討会(第3回)を開催し、公共交通機関への大型荷物持ち込み増加に対し、安全で円滑な移動の確保に向けた対策の取りまとめを行い、検討会を終了した。また、ターミナル周辺等において博覧会協会が手荷物一時預かり施設(配送機能含む)の整備を行うとともに、当該施設にて業務を行うにあたり、民間事業者等の知識やノウハウ等を活用し、より効果的・効率的に実施するため、7月10日から8月2日にかけて「2025年日本国際博覧会 大型荷物等一時預かり及び配送業務委託」に係る事業者の募集を実施した。さらに、2025年2月6日に宿泊、旅行等の各事業者団体に対して、検討会で取りまとめた対策の実施についての働きかけを行った。

9月13日に、『「桜島駅シャトルバス 運転士出向契約に関する合意書」説明会・調印式』を開催し、全国の貸切バス事業者等から運転士を出向していただく運転士斡旋スキーム及び運転士出向に関する合意書の内容について説明を行い、貸切バス事業者とバス運行事業者間で斡旋スキーム活用の第1号となる合意書締結の調印を行った。

10月3日に、2023年に設置した「万博駐車場交通連携システム検討会」(第3回)を開催し、万博P&R駐車場予約システムの検討状況、万博P&R利用料金の報告などを行い、検討会を終了した。

10月10日に、2023年に設置した「大阪・関西万博 駅シャトルバス予約決済サービス等システム連携検討会」(第3回)を開催し、KANSAI MaaSを活用した駅シャトルバスの予約システムが稼働するにあたり、博覧会協会が構築した来場者MaaSとの連携を含むシステムの最終確認を行い検討会を終了し、駅シャトルバスの運行便数、桜島駅シャトルバスダイヤの公表を行った。

11月5日に、2023年に設置した「大阪・関西万博 自転車アクセス協議会」(第3回)を開催し、自転車による万博会場へのアクセス方法や自転車駐車場等の利用方法の確認、シェアサイクル等の導入、地域連携等などについて取りまとめを、検討会を終

了した。

- イ 来場者輸送具体方針に基づき、2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議において、関係機関と共に一般交通への時差出勤等の働きかけにかかる周知を図るとともに、試行を実施する

5月23日に第8回幹事会、7月31日に第9回幹事会、11月19日に第10回幹事会、8月26日に「2025年大阪・関西万博 交通円滑化推進会議」(第3回)、12月23日に同会議(第4回)を開催し、9月30日から10月4日に実施した万博TDMトライアルの効果について報告を行った。

また、2月に開始した「万博TDMパートナー」の企業募集について、1万社・事業所の登録を目標とし、6月には府市と連携し、会場周辺や大阪メトロ中央線周辺の重点エリアの各事業所へのチラシ配布及びオンライン説明会の開催、7月・8月には区広報誌に掲載し、説明会を開催し、インセンティブの導入や、府県市民への広報・周知などについて、関係機関と引き続き連携して取り組みを進めて行くこととした。

- ウ 交通ターミナル等の工事を完了するとともに、運営に向けた準備を進める

夢洲交通ターミナルや夢洲障がい者用駐車場及び舞洲・堺・尼崎の各万博P&R駐車場に係る整備工事並びに建築物等の賃貸借について、詳細設計や現地測量を進め、2025年1月10日から順次施設の引渡しを受けて2025年2月末で概成した。

また、夢洲交通ターミナル等の雑踏警備に伴う警備計画の策定及び警備実施業務について、オペレーション計画の策定を進めた。

さらに、舞洲や尼崎及び堺万博P&R駐車場と夢洲第1交通ターミナルを結ぶP&Rシャトルバスの運行計画の策定を進めた。

7月19日に、「万博P&R利用料金」と「夢洲北岸浮棧橋利用料金」について決定・公表を行い、10月13日に、会場へのアクセスに関する情報をまとめたサイト(EXPO 2025 交通インフォメーション)をオープンし、交通アクセスの日時予約を開始した。

10月15日に、「2025年日本国際博覧会 大型荷物等一時預かり及び配送業務委託」に係る公募の最優秀提案事業者と契約を締結し、弁天町駅周辺及び桜島駅シャトルバスターミナルに大型荷物一時預かり所を事業者により整備を行った。

12月10日から2025年1月15日までの間、新しいモビリティのスタイルとしてシェアサイクル等を導入するため、「2025年日本国際博覧会 夢洲自転車駐車場内でのシェアサイクル等ポートの運営事業委託」に係る委託事業者の公募を行い、2025年3月28日に事業者と契約を締結した。

(7) 企業・団体等の参加計画

ア 企業・団体等は、ともにテーマの実現を目指すパートナーであり、これまでの万博よりも幅広い参加ができるよう、多様な参加メニューを用意することでより多くの参加を促す

幅広い協賛の獲得に向け、大企業のみならず、中小企業及びスタートアップ企業等の参加促進を主眼に置きながら、万博の会場整備および運営に必要な施設・物品・サービス等の協賛募集を実施した。(2024年3月28日から5月30日：第3回会場整備参加／第6回運営参加)

2024年6月1日までに新たに協賛が決定した56者について、協会ホームページ上で社名公表を行った。これにより、会場整備参加・運営参加の協賛者は、計230者となった。

幅広い協賛の獲得に向け、大企業のみならず、中小企業及びスタートアップ企業等の参加促進を主眼に置きながら、万博の会場整備および運営に必要な施設・物品・サービス等の協賛募集・受け入れを継続して実施した。(2024年12月23日から2025年2月28日：第7回運営参加(航空輸送支援))

9月30日までに新たに協賛が決定した67者について、協会ホームページ上で社名公表を行った。これにより、会場整備参加・運営参加の協賛者は、計300者となった。

イ 民間パビリオン出展参加者とともに、魅力あふれるパビリオンを実現する

出展者会議を毎月継続的に開催し、パビリオン出展者への展示・運営等の支援を行った。

ウ 催事特典など参加メニューに応じた個別特典を用意し、より多くの参加を促す

協賛プロモート活動を進めるにあたり、各催事場やスタジオ施設、ユニフォームなどに表示する名称表示ルールを設計を行った。

また、催事協賛プロモート活動の強化を目的に、催事施設内での名称表示設置箇所やサイズ、館内アナウンス、協賛企業PRコーナーの設置などの個別特典を具体的に設計した。

協賛プロモート活動を進めるにあたり、各催事場やスタジオ施設、ユニフォームなどに表示する名称表示ルールを設計を行った。

また、催事協賛プロモート活動の強化を目的に、催事施設内での名称表示設置箇所やサイズ、映像表示における名称表示ルールなどの個別設計を具体的にを行った。

エ キャッシュレス決済及び EXPO 2025 デジタルウォレットサービスを効率的、効果的に運営する

「EXP02025 デジタルウォレット」の事業連携サービスでは、(一社)大阪外食産業協会、関西商工会議所連合会、大阪商工会議所、大阪市博物館機構、関西大学、全日本空輸株式会社(ANA)、日本電気株式会社(NEC)、奈良県橿原市等との万博機運醸成につながる様々なコラボイベントを実施した。

また、2024年5月23日に日本電気株式会社(NEC)と顔認証による会場内決済、6月19日にキャッシュレス推進協議会との連携に関する発表会を実施した。

さらに、6月25日に開催したIPM 2024 Summerにおいてキャッシュレス決済に係る対応事項、「EXP02025 デジタルウォレット」に係る協力依頼事項、更新情報の説明を行った。

加えて、7月1日に「EXP02025 デジタルウォレット」の機能追加リリース、記者向けリリース発表会および協会HPでの公表を行うことと併せ、その内容について、Web3のスタートカンファレンス「IVS2024 KYOTO」にて企業向けのPRを行った。

開幕1年前記念プレゼントキャンペーン、入場券部と連携した抽選「ミyakumiyakuぽん！」などプロモーションを実施した。

「EXP02025 デジタルウォレット」の魅力を高め、ウォレット利用者の万博参加へのモチベーションアップ、来場誘因を企図して、会場内の休憩スペースとして、また特別な体験・サービスの提供を行う「EXP02025 デジタルウォレットパーク」の設置(2025年3月竣工)を検討した。

「キャッシュレス決済」と「EXP02025 デジタルウォレット」の機運醸成のため、三井住友銀行グループ、りそな銀行グループ、SBIホールディングス(アプラス社)、三菱UFJグループ、HashPort社、キャッシュレス推進協議会、大阪観光局、大阪商工会議所、大阪外食産業協会、VJA加盟店、近鉄百貨店、日本デジタル空間経済連盟等と連携し、プロモーション施策を実施した。

また、「EXP02025 デジタルウォレット」の事業連携サービスでは、JNTO、JETRO、大阪市、鳥取県、グリーンロケッツ等との万博機運醸成につながる様々なコラボイベントを実施した。

さらに12月4日に、はるな愛氏、宮田プロデューサーにご登壇いただき、デジタルウォレットのバージョンUPとデジタルウォレットパークの概要を発表した。デジタルウォレットパークは、2025年1月に区画引き渡しを実施し、同年1月に施工を開始した。

加えて、KITTE大阪の「Giftpad space」にて、12月31日より、ミyakumiyakuポイントと入場券(一日券・開幕券)の交換を開始した。また、ミyakumiyaku!景品交換店舗サービス(ECサイト)の開設と限定グッズの交換を、2025年2月14日から開始した。

なお、キャッシュレス決済の対応ブランド、プリペイドカード対応協賛企業の発表を2月14日に行った。加えて、キャッシュレス決済・EXP02025 デジタルウォレ

ットガイドラインの改正・発出を2月に実施した。

3月4日にデジタルウォレットミyakumiyakuriワードプログラムの追加サービスを開始した。3月6日に万博関連アプリDLキャンペーン第1弾として、デジタルウォレットとVisitorsとの経験値連携を開始した。3月13日にデジタルウォレットと大阪エヴェッサ（プロバスケットボールチーム）のコラボキャンペーンを開始した。「ミyakupe!」のMPM加盟店キャンペーン、GiGOとの特別コラボ（ミyakupe!、ミyakun!の体験イベント）を3月28日から開始した。

デジタルウォレットパークのサービス内容の公表を4月中旬に行う予定。会場内決済のBCP計画書については、4月下旬に発出する予定。

オ 協会公式クラウドファンディングを実施し、万博への参加意識を高める

実施に向けて具体的な検討・整理を進める中で、協会の会計上受け入れられないこと、寄付を受ける場合の事前確認がシステム上難しいことなどが判明したため、検討を中止している。

(8) 持続可能性管理システム（ESMS）の構築と運用

ア 持続可能性方針を踏まえ、個別の取組・指標及び万博全体の指標について検討・整理し、持続可能な万博運営に係る取組を具体化して、ESMSを構築・運用し、ISO20121の認証を取得する

持続可能性方針を踏まえ、持続可能な万博運営に係る個別の取組を具体化してISO20121に準拠したESMSを構築し、2024年4月から運用を開始した。

なお、ステークホルダーへの定期的な報告を行うため、持続可能性有識者委員会での検討を踏まえ、4月26日に「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた行動計画」（第2版）を公表した。

さらに、6月から7月にかけて、運用中のESMSに対する第三者機関によるISO20121の認証審査を受けた。

加えて、持続可能性有識者委員会での人権に関する取組の検討を受け、博覧会事業に携わるすべての人の人権を尊重するため、4月23日に「公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 人権方針」を策定し、6月13日には第1回人権ワーキンググループを開催し、人権デュー・デリジェンス（事業が及ぼす人権への負の影響と対応）について検討を行った。

持続可能な万博運営に係る個別の取組を具体化し4月より運用開始したESMSについて、8月13日にISO20121の認証を取得し、9月26日に認証取得に関する記者発表を行うとともにHPで公表した。

また2025年1月16日に第11回持続可能性有識者委員会を開催し、持続可能な大阪・関西万博開催にむけた行動計画（開催前報告書）及びEXP02025 グリーン

ビジョンについて検討を行った。

人権に関する取組について、10月17日に第2回、2025年2月5日に第3回人権ワーキンググループを開催し、人権デュー・デリジェンス（事業が及ぼす人権への負の影響と対応）について検討を行った。

これまで人権に関する通報受付対応については、大阪・関西万博総合コンタクトセンターを窓口として受け付けることとしていたが、2025年2月25日にメール・郵送での通報について専用の通報受付窓口を新たに開設、公表した。

2025年3月28日に「持続可能な大阪・関西万博開催にむけた行動計画（開催前報告書）」及び「EXPO 2025 グリーンビジョン」を公表した。

イ 物品やサービスの調達プロセスにおける持続可能性への配慮を図るため、持続可能性に関する基準や担保方法等を定めた調達コードを運用する

2024年2月21日に開催した第10回持続可能な調達ワーキンググループにおける「能登半島地震の復興への配慮や協会の人権方針との関連について記載すべき」との委員意見を受け、それらを反映した改定案について同ワーキンググループ及び持続可能性有識者委員会の委員に意見聴取を行い、5月22日に「持続可能性に配慮した調達コード（第3版）」を策定、公表した。

これまで調達コードに関する通報受付対応（グリーンバンス・メカニズム）については、大阪・関西万博総合コンタクトセンターを窓口として受け付けることとしていたが、7月3日に専用の通報受付窓口を新たに開設し、プレスリリースを行った。

10月16日に第11回持続可能な調達ワーキンググループを開催し、調達コードの実施状況について検討を行った。

調達コードに関する通報受付対応（グリーンバンス・メカニズム）について、9月に通報を1件受け付けた。通報対応アドバイザー会議の助言を得ながら情報収集し検討した結果、処理を開始することは困難と判断し、手続を終了した。

2025年3月10日に第12回持続可能な調達ワーキンググループを開催し、調達コードの実施状況について検討を行った。

調達コードに関する通報受付対応（グリーンバンス・メカニズム）について、2025年3月に通報を3件受け付け、処理手続の開始を決定した。

(9) 万博ICTシステム及び万博通信インフラの整備

ア 万博ICT-PFシステムを安定的に運用する。また、データ利活用に向けて機能強化を行う

チケット販売の促進策の一環として、2024年7月24日に、電子チケット購入に係るシステム改善（本人確認の仕組みの簡素化）を実施した。

データ利活用に向けての機能強化として、9月1日より、サービス連携機能の本格

運用を開始した。

来場者に万博 ID に関する個人情報の取扱いについての理解を深めていただくために、個人情報保護方針を補足する指針として、2025年3月28日に、「万博 ID に関する個人情報の取扱いガイド」を作成し、公表した。

- イ 会場内の情報通信インフラ構築を完了し、会期に向けて会場内ネットワークおよびデータセンターの保守運用を円滑に実施する

光ケーブルのパビリオン引き込み時期について、民間パビリオンとの調整を実施した。また、データ利活用に関するシステムにつきネットワーク接続（閉域）を実施した。

2024年10月1日より、夢洲にて会場内ネットワークの運用を開始した。

- ウ 会場内での無線機利用に必要な手続き等を規定する万博会場内無線機利用にかかるガイドライン（運用編）を策定し、会場内の電波利用環境保護のための体制を確立する

2024年4月24日に会場内無線設備の管理及び周波数利用管理等業務について、事業者と契約を締結した。

5月27日に公式参加国に対して特別規則第10号に基づき「万博会場内無線機利用に係るガイドライン（運用編）」を発出し、IPM 2024 Summer 等で周知した。

「万博会場内無線機利用に係るガイドライン（運用編）」に基づき、10月1日より無線機利用申請の受付を開始した。

(10) 万博におけるサイバーセキュリティ対策

- ア 会期中の各システムの安定運用に向けたサイバーセキュリティオペレーション体制の構築および協会内外との連携強化を実施する

情報セキュリティの運用および管理について、委託事業者とともに実施した。

会期に向けたサイバーセキュリティ対策について、有識者や NISC（内閣サイバーセキュリティセンター）と連絡体制を含め、認識合わせを実施した。

(11) データ利活用に向けた取り組み

- ア 2023年度に制定したデータ利活用ガイドラインに基づき、出展者等からの申請受付、データ連携基盤との接続を進める

順次、出展者からのデータ利活用申請受付及びデータ連携基盤と各種システムへの接続を実施した。

出展者などからのデータ利活用申請受付を締め切り、準備の完了したシステムよりデータ連携基盤と各種システムへの接続を実施し運用を開始した。

(12) 来場者サービス・会場管理の具体化

ア 来場者サービスやサービス施設、サービス提供体制の検討・実施

来場者サービス実施計画を策定するため、会場サービス計画、ユニバーサルサービス計画、情報提供サービス計画、会場運営体制計画についての要件を整理し、2024年6月28日に委託事業者より計画書を受領した。

来場者サービス実施運営のため、4月13日から6月30日までEXPO サービスクルー（仮称）の募集を実施した。その結果、募集人数600人強に対し、16,828名の応募があった。7月から二次選考を進め、採用活動を実施した。

会場サービス計画の要件を整理し、案内所等の各サービス施設の運用について検討した。

来場者サービス実施運営のため、4月から6月にかけてゲストサービスアテンダントの募集が行われ、600名強の定員に対して、国内外から16,828名の応募があり、約1,000名の内定者が決定し、10月15日に約800名の参加者にて入社式を実施した。

内定された方々に対して、スタッフ研修を10月基礎研修（接遇など）、12月専門研修（ICT・ユニバーサルなど）、3月現地研修のスケジュールで進めている。

会場サービス計画の要件を整理し、案内所等の各サービス施設の運用について検討の上、運営マニュアルの完成に向けて準備を進めた。

2025年3月よりアシスタントディレクターと合流し、夢洲の現地研修を実施した。

各案内所やサービス施設、ゲートの運用に必要なマニュアルも精査し、更新した。

3月31日にはアテンダントが着用するユニフォームも納品され、個々に配布も完了した。4月より総合防災訓練、コアアテンダントでは最終調整の研修を1日行い、テストランと開幕に備えた。

イ 情報提供サービスの検討・実施

2024年4月より情報提供サービス計画について要件を整理し、調整を行った。

5月から6月の間、会場内デジタルサイネージのプロポーザル選定委員会を行い、7月1日にTOPPAN株式会社と契約を締結し、7月に基礎システム要件定義、8月までに筐体デザインの調整を行った。9月からはコンテンツ詳細について各原課と調整を開始し、2025年1月のデモ実施を経て3月の総合テストも完了したため、その後開幕に向けた最終調整を行った。ハード工事については、基礎工事に関する整備局との調整を経て、2025年2月に全17台の本体設置を完了した。

ゲート前後・バックヤードサインについては、入札にてTOPPAN株式会社と7月24日に契約を締結し、7月から8月にかけて、サイン表示面について関係部局と調整し

た。2025年3月までに設置を完了し、開幕に向けて強風対策など最終確認作業を行った。

来場者向けアプリケーション「EXPO 2025 Visitors」の開発を進め、2024年9月18日に第一段階での一般向けリリースを実施した。2025年3月27日に第二段階のリリースを行い、当初予定機能全てリリースし、来場者の利便性を高めた。

会場内放送については、放送内容について関係部局との調整を行いながら、放送内容の文字化/多言語化を行うシステムとの連携に関する協議を実施した。各放送拠点へ機器の搬入、実際に放送を担当するスタッフへの研修も実施し、開幕に向けた準備を行った。

ウ ユニバーサルサービスの検討・実施

2024年5月からユニバーサル関連マップ「バリアフリーマップ」「センサーマップ」「触知図」についての検討を行った。同年10月から万博HP内にユニバーサルページの作成を検討し様々なユニバーサル関連情報の掲載のため多他部局との調整を行い、バリアフリーマップ及びセンサーマップについては、当該ページへのデータ掲載済み。会期中は現地でのプリントアウトにて配布。触知図については各団体などへ寄贈し事前閲覧及び情報発信を検討、当該ページでの情報発信済み。

2025年3月6日、ユニバーサルサービス報告会を実施。これまで委員からいただいたご意見を元に準備したサービスを報告し、4月4日のテストランにて会場を視察、確認をいただいた。

ユニバーサルサービス Web サイト 2 回目の更新を 4 月 11 日の公開に向け準備中した。

3 月中にバリアフリーマップ、センサーマップ、触知図は校了済み。触知図は、事前配布（寄贈）や事前周知に全国視覚障害者情報提供施設協会（全視情協）や全国盲学校長会（特別支援学校長会）などと協力し、盲学校卒業者ではない方も閲覧可能となった。

車いす 300 台、歩行補助具 140 台、ベビーカー800 台を搬入済。

エ ボランティアの募集・運営

2024年1月26日から4月30日までボランティアの募集を実施した。

その結果、募集人数約1万人に対し、34,190人の応募があったこと等を踏まえ、登録人数を14,000人とし、抽選の上、6月28日から順次、面談を実施した。

なお、大阪府・大阪市が運営し、博覧会協会と連携しながら募集広報等を実施した大阪まちボランティアについては、同じく募集人数約1万人に対し、21,444人の応募があり、登録人数を16,000人とした。

2024年10月以降、ボランティア活動の基礎知識等を習得していただくための研修を実施するとともに、2025年2月から活動シフト予約の受付を開始するなど、開幕に向けた取組みを進めた。

オ ペット同伴の検討

2024年6月27日に、ペット同伴来場実施に関して理事会へ議案提出したが、決議持越しとなった。

9月13日の理事会にて「ペット同伴来場実施見送り」について決議し、ペット同伴来場の実施見送りが決定した。

カ アクレディテーションの検討・実施

2024年5月27日「関係者入場証（AD 証）ガイドライン」を関係者向けに発出するとともに、博覧会協会職員及び関係者向けの説明会を随時開催し、AD 証の申請手続き等について、周知を開始した。

また、10月の「AD 証登録システム」のリリースに向けて、詳細なシステム設計・各種テストを実施するとともに、AD 証の受渡しを行う「メイン AD センター」のレイアウト工事、什器搬入等の開設準備を実施した。

10月7日に AD 証の受渡しを行う「メイン AD センター」を ATC に開設し、10月17日には AD 証登録サイトをリリースし、AD 証の登録・発行申請の受付から受渡しまでを開始した。

2025年3月末には、関係者ゲート（東）・（西）・（南東駐車場）、車両ゲート（VIP/南東一般・南東駐車場 A・B、管理棟西運営本部、メディアセンター、迎賓館、EXPO アリーナ、EXPO ホール、EXPOND ホールの AD 証認証端末の設置工事を完了し、4月1日より本番稼働させた。また、同日よりサブ AD センターを夢洲会場一般来場者東ゲートに開設した。

キ 清掃・廃棄物処理等、会場管理の検討・実施

2024年4月から会期中の適正かつ円滑な運営に向けて廃棄物管理業務委託業者及び清掃業務委託業者と各業務の実施計画の検討を開始した。

廃棄物管理業務及び清掃業務の実施計画及び作業マニュアルの作成や調整を行うとともに、廃棄物処理業者との契約締結を進め、2025年1月14日から会場内廃棄物管理業務を、1月20日から会場内清掃業務を開始した。

廃棄物管理業務及び清掃業務の各実施計画や作業マニュアル、2月に発出した「ごみの適正処理等に関するガイドライン（追補版）」を踏まえ、廃棄物管理業務では3月1日から全サブストックヤードで実作業による計量システムの稼働状況の確認を実施した。また、清掃業務では3月から段階的にスタッフ数を増員し清掃範囲を拡充す

る等、開幕に向けて確実かつ円滑な運営体制を整えた。

ク 営業施設の配置や事業収支の検討・実施、事業者の募集

2024年6月3日から7月2日まで順次、営業参加一次公募で決定した事業者7者と参加契約を締結した。また、5月24日に二次公募の営業参加候補者を決定し、出店に向けて協議を開始した。さらに、6月28日に「大規模小売店舗立地法」に基づいた大阪市への届出を行い、8月19日に住民向け説明会を実施した。

期間を通じて営業参加公募で決定した事業者と参加契約及び出店へ向けた継続協議を実施した。また、9月12日から2月19日にかけて事業者へ運営にかかる各種説明会を計8回実施した。さらに、12月9日に大規模小売店舗立地法に基づき大阪府で開催された審議会に参加し、13日には「意見なし」との通知を受け取り、手続きが完了した。

消防センターと連携し2025年2月28日及び3月17日、31日に消防検査を実施し、各店舗の消防設備が適切に施工されていることを確認した。

ケ 場内輸送の検討・実施

会場内・外周バス事業について、協賛者（関西電力株式会社・大阪市高速電気軌道株式会社・株式会社ダイヘン・株式会社大林組）と協賛契約書締結に向け、継続協議を実施した。

また、来場者向けパーソナルモビリティについて、機体メーカーと協賛に向け継続協議を実施するとともに、万博会場内での同機体の運用について検討を実施した。

さらに、関係者モビリティについて、2024年4月10日に株式会社たまゆら、4月26日に株式会社アキボウ、6月18日にGarage Bosco 合同会社と協賛契約書を締結した。

会場内・外周バス事業について、協賛者（関西電力株式会社・大阪市高速電気軌道株式会社・株式会社ダイヘン・株式会社大林組）と12月26日に協賛契約書を締結し、EVバス運行等に係る協議を実施した。

また、来場者向けパーソナルモビリティについて、機体メーカーと協賛に向け継続協議を実施するとともに、12月11日に実施計画の策定、会期中の運用等に係る業務委託契約をTSP太陽株式会社と締結。万博会場内での同機体の運用について検討を実施した。

さらに、関係者モビリティについて、自動車メーカー8社（マツダ株式会社、株式会社SUBARU、日産自動車株式会社、ダイハツ工業株式会社、三菱自動車工業株式会社、トヨタ自動車株式会社、本田技研工業株式会社、スズキ株式会社）、ヤマハ発動機株式会社、TOYO TIRE 株式会社と協賛契約書を締結した。

コ 物流に関する検討・実施

協会が運営する倉庫について、2024年7月から日本港運協会等との事前協議を開始し、9月に終了した。また、当倉庫は11月1日から運用を開始した。

車両の入退場を管理するシステムについて、2025年4月の本稼働に向けて11月1日から協会内のみの仮運用を開始した。さらに3月から仮運用を拡張し、関係者の利用も開始した。

宅配便セキュリティセンターについて、10月22日に事業者と契約を締結し、3月1日から当センターを経由する運用を開始した。4月からのセキュリティチェック開始に向け調整を進めた。

(13) 危機管理体制の構築・実施

ア 会場警備対策

2024年4月以降、会場警備を委託した事業者と毎週定例会議を開催し、具体的な警備要領について検討を重ね、7月1日より、協会警備隊による会期前Ⅰ期警備を開始した。

また、来場者ゲートのセキュリティ機器のほか、警備資器材等の調達を進めた。

さらに、7月31日には第6回警備分科会を、8月27日には、第7回安全対策協議会を開催し、警備実施計画等について協議した。

9月以降も、協会警備隊を委託した事業者と毎週定例会議を開催、警備マニュアル等を作成している。

9月末に警備資器材の1回目の搬入を行った。

10月1日より会期前Ⅰ期警備から会期前Ⅱ期警備に移行した。

11月7、8日にスクリーニング機器の実証実験を行った。

2025年2月から3月にかけて協会警備隊警備員の事前研修を実施、3月19日に警察、消防と連携しテロ対策訓練を実施した。

3月21日に第8回安全対策協議会を開催し、会場内の危機管理体制について確認を行った。

3月31日までに警備資器材の搬入を完了した。

イ 災害対策

2024年8月27日に第7回安全対策協議会を開催し、防災実施計画等について協議するとともに、博覧会の閉場基準や要配慮者対応について、協会の取り組み状況を説明し、構成員の賛同を得て、9月2日に防災実施計画を策定・公表した。

また、大規模災害時に来場者が留まれる会場外の一時滞在施設として、以下の事業所を含む7事業所と協定を締結した。

2024年9月5日 アジア太平洋トレードセンター株式会社

10月17日 社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会

11月8日 学校法人森ノ宮医療学園

2025年3月5日 大阪広域生コンクリート共同組合

会場内の災害用備蓄品については、12月以降、順次会場内倉庫への納入を開始し、万博開催前に備蓄を完了することができた。

2024年12月3日に、協会内の大規模震災発災後の情報収集及び事務局の運営に係る訓練を実施し協会内の認識の共有を図った。

その成果を反映し、2025年1月17日に、大阪府が主催する「令和6年度大阪府地震・津波訓練」に参加して、机上訓練を通じた大規模地震に係る協会災害対策本部の設置・会議による対処能力の向上及び大阪府とのWEB会議による被害状況の認識の共有を図る等、連携強化を図った。また、ヘリや船舶による実動訓練を通じ、各救助機関等との連携強化及び尺度を獲得した。

2025年1月17日（第1回）及び3月14日（第2回）に、大阪市消防局の協力を得て、すべての公式参加者に対する防火管理講習を実施することができた。

また、3月中に会場内において、参加者を対象とした自衛消防訓練を実施し、火災や救急事案発生時の通報、避難、消火訓練を実施し、災害発生時における各種対応能力を向上させることができた。

2月26日に安全対策の広報として博覧会協会のホームページに防災・安全ページを開設した。

更に、同ページ上に視覚的に分かりやすく博覧会協会が実施している各種防災対策を把握することができることを目的に作成した「安全対策ポスター」を掲示した。

2025年3月21日に第8回安全対策協議会を実施し、災害対応マニュアルの改善に関する助言や、関係機関の連携の必要がある等の今後の活動に有用な意見を得ることができた。

ウ 医療救護対策

2024年5月14日・8月6日に、第4回・第5回運営検討分科会を開催し、医療救護対策実施計画及び医療救護マニュアル等について協議した。

また、医療人材の確保策や医療救護施設の運営方法について、協議会の構成員・関係機関等との意見交換を継続的に実施しながら、適正な医療救護体制の構築に向けた調整を行った。

10月9日に開催した第4回医療救護協議会における構成員の意見を踏まえ、1月29日に医療救護対策実施計画を策定し協会ホームページに掲載した。

また、9月10日・11月26日・1月14日・2月25日に第6回～9回運営検討分科会を開催し、医療救護対策実施計画に基づいた医療救護スタッフ向けの医療救護マニュアルや研修会について協議した。

2025年1～3月には、医療救護スタッフ向けマニュアルの策定、医療救護施設の運営に必要な人材の雇用・資器材の準備、関係従事者向けの応急手当講習、医療救護施設スタッフ向け研修を実施した。

3月26日に、第5回医療救護協議会を開催し、会期中の運営体制の準備状況について構成員に報告を行った。

エ 会場衛生対策

2024年6月4日に、風しんの追加的対策について、協会内の対象職員（昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性）に対して周知を行った。

9月19日に開催した第4回会場衛生協議会で出た構成員からの意見を踏まえ、9月30日に会場衛生実施計画を策定し、協会ホームページに掲載した。

会期中に発生の恐れがある、麻しん・侵襲性髄膜炎菌感染症等の発生時（疑いを含む）の流れや情報連携を確認するため、行政機関を含めた訓練を11月12日に実施した。

会場内の感染症発生情報を収集するため、協会職員等の健康に関する情報の収集を2025年1月14日から開始した。

「衛生及び保健にかかるガイドライン（追補版）」を策定し、会場衛生実施計画に基づき、参加者等が開催前に行うべき必要な手続き及び開催期間中に行うべき衛生管理についての留意点等について、1月24日に関係者ポータルに掲載した。

会場内における食品衛生及び環境衛生関係施設の衛生を確保するための拠点として、2月3日に会場衛生監視センターを設置した。

3月18日に第5回会場衛生協議会を開催し、開催に向けた取り組み及び開催中に取り組む対策について報告した。

医療救護所の医療従事者に対し髄膜炎菌ワクチンの接種を3月から開始した。

オ 事業リスク対策

一般規則及び特別規則に基づき、協会が加入しなければならない強制保険契約について2024年5月9日から公募を開始した。

なお、公平・公正かつ適法な選定とするため、選定委員4名による選定委員会を設置し、6月17日に最優秀事業者等を決定・公表し、7月から協会および各参加者の保険加入手続や事故発生時の対応手順等について、引受保険会社・取扱代理店との協議を開始した。

一般規則及び特別規則第8号に基づき、協会が加入しなければならない強制保険3種類すべてについて11月末に契約手続を完了した。付保漏れのないよう万博事業の進捗に合わせて引受保険会社への通知を開始しており、並行して協会内の確認作業を継続実施した。

参加者の強制保険手配を支援するため、初めて説明資料を作成しポータルにて開示するとともに、OSSを通じて支援した。あわせて保険事故発生時の対応マニュアル作成に着手し、引受保険会社・代理店との協議を継続実施した。

一般規則及び特別規則第8号に基づく強制保険について、保険ガイドラインで案内済の面積按分費用を確定し、各参加者の加入手続を進めるため、申告書の配布及び回収、請求書発行並びに入金確認等を関係局の協力も得つつ進めた。

保険事故発生時の対応について運営統括マニュアルへの掲載原稿を引受保険会社及び代理店と共に作成し、協会内に周知した。並行して、参加者向けの案内についても検討を継続している。

(14) 迎賓・接遇体制の構築・実施

ア 賓客接遇の検討

2023年度に策定した賓客接遇基本計画に続き、協会内並びに国・府市関係機関との連携、調整のうえ、2024年10月に賓客接遇実施計画を策定した。

また、賓客接遇業務の委託事業者と5月23日に契約を締結し、賓客接遇業務の委託事業者と会期に向けて定例会議を継続して実施した。

会期に向けて賓客接遇業務のロジ調整及び他局の協力の基、視察先パビリオンとの調整を実施した。

イ 迎賓館運営

国内外の賓客を接遇する迎賓館運営業務の委託事業者を2024年6月28日に公募のうえ8月9日に委託事業者（株式会社ロイヤルホテル）を決定し、9月17日に業務委託契約を締結した。

12月20日に整備局より迎賓館引渡しが行われ、家具・什器などの設置の開始をした。その後、迎賓館運営業務委託の清掃業務における頻度や清掃箇所の見直しを行い、契約変更を実施した。また、引き続き家具等搬入及び備品調達の調整を実施した。

ウ 日本館との連携

2024年4月から日本館業務のさらなる連携強化のため、協会と国及び委託事業者で構成する定例会議を隔週で開催し、協会・日本館の接遇対応の情報共有なども合わせて実施した。

儀典局が管轄する賓客の引き渡し場所などロジ調整を実施した。また、運営協賛品の連携を実施した。

エ 賓客の警護体制

賓客接遇実施計画の策定にあたり、大阪府警との調整を実施した。また、海外から

の首脳クラスの賓客対応として、2024年6月25日から26日に開催した IPM 2024 Summer にて、各国に現在の進捗状況などを説明した。

賓客警護の方針や配置案など大阪府警との調整を実施した。

ナショナルデー、スペシャルデー賓客対応として、IPM 2025 姫路にて、各国に現在の進捗状況などを説明した。

会期前において皇室関係や要警護者などの視察があり、会場内の警護体制及び導線計画など現場での擦り合わせを実施した。

(15) 机上リハーサル/テストランの実施

ア 机上リハーサルの実施

平時の来場者の動きを想定したものを2024年8月7日に、スタッフの動きの想定を8月21日にそれぞれ実施した。

日常的に発生するトラブルを想定したリハーサルを10月11日に、インシデントを想定したリハーサルを10月25日にそれぞれ実施した。

イ テストランの実施に係る計画の策定

公式参加者に対し、テストランを2025年4月4日～6日に実施することを IPM 2024 Summer で報告した。

また、テストラン運営補助等業務委託の企画提案について7月24日から公募を開始した。

公式参加者に対し、テストラン実施計画を IPM 2025 で説明した。

関係先へテストラン入場券の配布を行った。

(16) 公式記録作成への取組

ア 公式記録（書籍・映像）基本方針の策定

協会内での業務記録を各部局より収集し、その保管を2024年6月から開始した。

公式記録（書籍・映像）制作業務について、プロポーザル方式により事業者を公募し、2025年3月に事業者を決定、契約締結した。また、各部局の業務資料、業務記録の収集・保管を継続実施した。

イ 公式撮影業務委託の準備・募集

主要なイベント、発表会、説明会等の公式映像や公式写真の撮影を行った。会期中の公式撮影業務委託については、公募プロポーザル方式により2025年3月に事業者を決定、契約締結した。

ウ レガシーの記載

万博が何を残すのか（レガシー）について、2023年度に実施した有識者ヒアリングや関係者との議論を踏まえ、2025年日本国際博覧会の意義を世の中に伝えるため、会期後に公式記録に位置づけることを目標とし、経営企画室や広報部と協議を行いながら、レガシー候補の項目整理作業・検討を行った。

万博の意義・成果として対外的に何を示すとよいか案を整理し、協会全体に共有するとともに意見照会を実施した。

(17) 会期後の財産処分のための体制整備

ア リユース・リサイクルのあり方検討

財産処分に係る経産省等との協議を継続実施するとともに、資産譲渡のルール作成、譲渡先決定プロセス検討、財産処分要綱制定準備を進めた。

また、リユースマッチングプラットフォーム構築・運営のための運営協賛企業との契約を順次締結し、7月19日にプレスリリースを行った。

さらに、リユースに係るシステム構築・資産評価・輸送保管等の検討・構築を進め、8月6日に施設等リユースのためのWEBサイトを開設した。

加えて、大屋根リング木材の構造材利用について、専門家を交えた検討会を実施するとともに、国土交通省とも協議を行い、6月28日に都道府県関係部局宛てにCLT等再利用に関する文書を発出いただいた。

そのほか、施設リユースに関し、協会関係部署との調整検討、IPM 2024 Summerや出展者会議でのパビリオンリユースを勧奨するとともに、需要家との面談を実施した。

8月にリリースしたリユースサービス「ミヤク市！」は「施設」「建材・設備」「什器・備品」に分類される。

「施設」については、8月から対象施設を順次掲載し、3月31日時点で28施設掲載し、適宜需要家候補と協議を進めている。

「建材・設備」については、リース建築以外の施設を対象に、リユース対象品目を選定し、3月10日にシステムでの公募を開始した。

また、リユース解体事業者の調達、閉幕後の解体計画との調整を進めている。

「什器・備品」については、次年度9月頃のリリースに向け、準備を進めている。

大屋根リング木材については、有識者を交えた検討会を開催、今年度3月に向け、構造材活用のための環境測定装置の設置に向けた準備を行っている。

2 博覧会の機運醸成と入場券販売拡大に向けた取組

(1) 戦略的PRの実施

ア 機運醸成委員会の取組

第3回機運醸成委員会を2024年4月4日に開催し、第1期PR重点期間（20

23年10月～12月)の機運醸成活動を総括して、課題の抽出等を行うとともに、今後の広報・プロモーションの方針や主要な取組みを取りまとめた「機運醸成行動計画 ver.2」を策定した。また、4月下旬に第2期PR重点期間(2024年9月～11月)等における広報発信コンテンツ等の作成に向けて、公募プロポーザルを実施した。

第4回機運醸成委員会を10月3日に開催し、「機運醸成行動計画 ver.2」に基づく活動状況と今後の取組み等を意見交換した。また、既に公表している新キービジュアルを含むデジタルサイネージ用のスライドショーやテレビCM動画2本を発表した。

第5回機運醸成委員会を2025年2月10日に開催し、「機運醸成行動計画 ver.2」に基づく第2期PR重点期間の取組みを総括するとともに、機運醸成活動の最終段階である第3期PR重点期間に向けた取組方針及びチケット販売促進の改善等について意見交換を行った。また、大阪・関西万博のシンボルでもある「大屋根リング」を用いたあらたなキービジュアルや日本を代表する世界的な人気キャラクターで、スペシャルサポーターの「ハローキティ」と公式キャラクターの「ミャクミャク」が共演するプロモーション動画を発表した。

イ 協会IP(ロゴマークやキャラクター等)を活用したライセンス事業の展開

会場外オフィシャルストア(13店舗、累計19店舗)、ポップアップストア(13カ所)を新規展開した。また、公式ライセンス商品の契約・製造・販売を促進した。さらに、OMDコラボ商品の交渉・製造・販売等のライセンス事業展開を行った。

会場外オフィシャルストア(4店舗、累計20店舗)、ポップアップストア(7カ所)を新規展開した。また、公式ライセンス商品の契約・製造・販売を促進した。さらに、OMDコラボ商品の交渉・製造・販売等のライセンス事業の展開を行った。

(参考)

[新規・会場外オフィシャルストア関連]

4/12(福岡)「ジュンク堂書店福岡店」、4/13(大阪)「高島屋大阪店」「大阪南港ATC店」
4/20「心斎橋PARCO店」、4/26(札幌)「MARUZEN&ジュンク堂書店札幌店」
6/14(大阪)「ジュンク堂書店難波店」
7/12(沖縄)「ジュンク堂書店那覇店」、7/19(広島)「丸善広島店」、
7/27(兵庫)「ジュンク堂書店三ノ宮駅前店」
9/4(東京)大丸東京店、9/5(兵庫)大丸神戸店、9/20(愛知)丸善名古屋店、10/12
(大阪)エディオンなんば本店

[新規・会場外オフィシャルポップアップストア(期間限定店舗)]

4/4～8/28<大丸東京店>、4/13～5/27<JR京都駅店>、4/26～5/8<京都ポルタ店>
5/3～5/8<ルクアイーレ店:by ベイクルーズ>、5/22～6/4<アルデ新大阪店>

8/27～9/27（東京）ハンズ新宿店、9/25～1/31（東京）いのち輝くシリーズ 外苑前店、
10/26～10/27（大阪）BAYCREW'S FESTIVAL 店、2025/1/11～1/19（大阪）ららぽーと
EXPOCIT 店、1/18～3/30（愛知）松坂屋名古屋店、2/11～5/31 予定（高松）ジュンク堂
高松店、2/14～3/23 予定（仙台）丸善仙台アエル、3/22～4/16 ルミネエスト店

〔新規コラボ商品関連〕

- 4/12 毎日放送「らいよんちゃん」コラボ新発売
- 4/13 滋賀県「ひこにゃん&わるにゃんこ将軍」コラボ新発売
- 5/3 BAYCREW`S「JOURNALSTANDARD 等 10 ブランド」コラボ新発売
- 5/19 アメフト「関西学院大学 FIGHTERS」コラボ新発売
- 5/23 ミズノ「ミズノオープン」「ゴルフグッズ」コラボ新発売
- 6/17 熊本県「くまモン」コラボ商品展開 発表（10/13 発売予定）
- 6/20 吉本興業「吉本新喜劇×ミヤクミヤク万博 PR」コラボ ミヤク声出し商品新発売
- 7/5 プロ野球「阪神タイガース」コラボ商品 新発売
- 7/12 サンリオ「キティほかサンリオキャラクターズ」コラボ商品 新発売
- 7/28 読売テレビ「シノビー」コラボ商品 新発売

9月～2025年3月までに自治体キャラクターとのコラボ商品の販売を行った。○箕面市「滝の道ゆずる」、東大阪市「トライくん」、泉佐野市「イヌナキン」、旭川市「あさっぴー、ゆっきりん」、島根県「しまねっこ」（企業 IP キャラクターコラボ）11/22 関西テレビ「ハチエモン」、3/15 朝日放送「エビシー」。

ウ アンバサダー、スペシャルサポーターを活用した機運醸成活動の実施

開幕1年前イベントや IPM 2024 Summer の会場でアンバサダー（山中伸弥）からのメッセージを放映するとともに、アンバサダー全員に開幕1年前等の SNS 投稿やリポストを依頼した。

また、スペシャルサポーターを拡充（NMB48、くまモン、伊原六花、はるな愛、ゆうちゃみ・ゆいちゃみ、高橋藍）し、開幕1年前イベント他協会主催イベント等に出演いただき、万博PRに協力いただいた。

〔アンバサダー（敬称略）〕

- 9月25日、コブクロ、佐渡裕、山中伸弥が200日前 SNS 投稿。
- 10月13日、コブクロ、佐渡裕、山中伸弥が半年前 SNS 投稿。
- 11月15日、コブクロが万博会場で収録したメッセージ動画を SNS に投稿。
- 12月1日、佐渡裕が開幕日の「一万人の第九」出演を発表。
- 1月3日、コブクロ、佐渡裕、山中伸弥が100日前 SNS 投稿。

2月8日、コブクロが読売テレビ「ウエイクアップ」にテーマソング制作の思いについてVTRで登場。

3月13日、山中伸弥がNHK総合「もうすぐ万博！あと1か月」に出演。

[スペシャルサポーター（敬称略）]

9月24日、NMB48が河森館アテンダントユニホーム発表会にモデルとして出演。

9月30日、はるな愛がスペシャルサポーターに就任。

10月12日、ゆうちゃみ&ゆいちゃみがスペシャルサポーターに就任。

10月13日、東京で開催した開幕半年前イベントに青木崇高、はるな愛、ゆうちゃみ&ゆいちゃみ、ハローキティ、くまモンが、また大阪ではNMB48が出演。

12月4日、はるな愛がデジタルウォレット新サービス発表会に出演。

1月3日、開幕100日前のメッセージ動画を14組のスペシャルサポーターがSNSに投稿。

1月22日、高橋藍（バレーボール、サントリーサンバーズ大阪所属）がスペシャルサポーターに就任。

2月10日～ハローキティがミyakumiyakuとのプロモーション動画に登場。

2月11日、はるな愛が「未来の食の楽しみ発表会～EXPO FOOD COLLECTION 2025～」に出演。

2月13日、万博会場内で「Pokémon GO」を楽しめること、ポケモン立体フォトスポットを設置することを発表。

2月18日、青木崇高が制作した大型アート作品を、4月13日より丸ビル大阪・関西万博バスターミナルと京阪電車中之島駅の2か所で一般公開することを発表。

エ 公式テーマソングの認知・利用拡大

使用申請は1,839件（2025年3月31日現在）。楽譜の申し込みは987件（2025年3月31日現在）。

オーケストラや合唱、ピアノ用やコード譜面を協会HPにて無償提供を開始し、盆踊りでの活用を推進した。

11月3日、コブクロが御堂筋ランウェイに出演しテーマソングを披露。

11月14日、コブクロがベストヒット歌謡祭に出演し万博会場からテーマソングを披露。

オ ラッピング車両などによる万博PRの拡大

4月13日の開幕1年前に合わせて、JR各社による新幹線、南海電鉄特急ラピートなど、新たな万博ラッピング列車が運行を開始した。また、6月からJALの機体ラッピング2号機が国際線に就航した。

開幕半年前、100日前の時期に合わせて、山手線、東北新幹線、東急東横線、九州新幹線など、関西以外の地域でも新たな万博ラッピング車両の運行を開始。また、12月12日からANAの万博ラッピング機が国内線に就航。2025年3月3日に大阪・関西万博仕様「JAL ガンダム JET」が国内線に就航。

カ 万博教育旅行誘致に関し、国・自治体と連携を図りつつ、取り組む

7月17日・22日、8月5日・6日の4日間、文部科学省の協力を得て、教育現場向けの説明会を内閣官房・経済産業省と共催にて実施した。

12月18日・20日に内閣官房主催の教育旅行関係者・旅行会社を対象とした説明会を開催し2,000名の参加があった。

教育旅行実施に関する会場内の施設情報等（マップ）や安全情報を掲載した「しおり」を発行し教育旅行ナビに掲載した。

キ 観光関係団体・事業者等と連携した国内外でのプロモーション活動に取り組む

「万博を契機とした観光推進ネットワーク会議」本会議を計3回実施した。その中では、万博を契機とした各地域への観光誘客促進を目指し、観光ポータルサイト等における観光情報の充実、万博HPや当ポータルサイトへのアクセス数増加策などに向けての協会をはじめとした各構成員の取り組みについての情報共有や意見交換等を行った。

(2) 機運醸成のための各種プログラム、イベントの実施

ア TEAM EXPO 2025 プログラムの推進

共創チャレンジや共創パートナーの登録者、「TEAM EXPO 2025」プログラムに関心のある方の交流を図るため、5月28日に第4回「TEAM EXPO 2025 MEETING」を大阪で開催した。

さらに、7月30日には関西以外では初めてとなる共創イベント「TEAM EXPO 2025 MEETING in TOKYO」を東京で開催した。「TEAM EXPO 2025」プログラムに参加する数多くの団体が参加し、大阪・関西万博への機運醸成と参加者同士の共創活動を行った。

共創チャレンジや共創パートナーの登録者、「TEAM EXPO 2025」プログラムに関心のある方の交流を図るため、11月27日に第5回「TEAM EXPO 2025 MEETING」を大阪で、12月11日に第2回「TEAM EXPO 2025 MEETING in TOKYO」を東京で開催した。イベントには「TEAM EXPO 2025」プログラムに参加する数多くの団体が参加し、大阪・関西万博への機運醸成と参加者同士の共創活動を行った。

2025年2月6、7日に「フューチャーライフヴィレッジ 大阪・関西万博プレイイベント」を大阪で開催し、600人の参加があった。

〔「TEAM EXPO 2025」プログラムへの登録数〕

共創チャレンジ 2,334件、共創パートナー426団体（2025年3月31日時点）

イ 自治体等と連携した機運醸成活動の実施

全国知事会万博推進本部（5月17日、8月1日）やブロック知事会への出席、各県知事への表敬訪問、経済団体・マスコミ訪問、経済団体等での講演等の機会を活用し、地域における主体的な機運醸成の取組や万博の更なる活用要請を行った。

ウ 開幕1年前イベントなどの実施

開幕1年前の4月13日に「大阪・関西万博 開幕1年前イベント～ぜんぶのいのちと、ワクワクする未来へ。～」を東京で開催した。併せて、関係者に各地で1年前関連イベントや SNS 発信等を実施していただいた。また、開幕半年前にあたる10月13日前後のイベントの実施に向けて6月26日から7月17日まで事業者を公募した。

10月13日に「大阪・関西万博 来場日時予約キックオフイベント～開幕まで半年！～」を東京で開催した。併せて、関係者に各地で半年前関連イベントや SNS 発信等を実施していただいた。

エ ジュニア EXPO2025 教育プログラムの推進等、教育機関と連携した若年層への啓発の促進

2024年4月22日に「ジュニア EXPO2025 教育プログラム」の専用ホームページを開設し、日本国内の小・中学校やインターナショナルスクール、海外の在外教育施設からの募集を開始した。また、文部科学省の協力を得て、全国の都道府県教育委員会等に対して同プログラムへの積極的な参加を促した。この結果、今年度は3月末時点で全国39都道府県の小中学校等354校、12か国の在外教育施設等の小中学校等31校、計385校（昨年度は127校）が参加した。

また、10月から1月に SDGs に取り組む企業と中学校29校がオンラインで交流を行うリサーチミーティングを実施するとともに、2月に SDGs 達成のためのアイデア発表会「ジュニア EXPO」を開催した。

(3) 入場券・パビリオン予約に関する取組

ア 販売体制の構築・充実

協会直販としては、主要経済団体及び関西広域連合傘下の自治体と連携をとりながら、前売り販売終期に向けて、企業への購入依頼などの取り組みをよりいっそう強化した。加えて、経済産業省や他省庁部局とも連携し、寄附企業や協賛・出展企業、イ

イベント主催者、公式参加国やそのスポンサー企業へもチケット購入の働きかけを実施し、販売拡大に注力した。

また、販売事業者向けの取り組みとして、昨年に引き続き販売事業者契約を各旅行代理店等と締結し、販売体制の充実を図ったほか2024年10月13日から来場日時予約の受付開始を契機として、各販売事業者への旅行商品造成の働きかけを行った。

イ 販売戦略の遂行

2024年4月30日に、前売チケット購入者対象くじ実施運営・PR業務に係る公募の最優秀提案事業者と契約を締結し、前売りチケット購入者に、抽選で豪華景品が当たるプレゼント企画を開始した。

6月から10月にかけて、前売りチケット購入者を対象に景品が当たるプレゼント企画を3回実施し、当選者には特別記念チケット等のオリジナルグッズやミャクペ等の景品を贈呈した。また、前売りチケットの販売拡大に向け、本企画でイベントの実施やSNS広告を実施した。

ウ パビリオン予約制度内容の決定

パビリオン予約制度ガイドライン Ver1.0に「予約の管理、抽選申込の仕組み、予約制度への参加申込等」について書き加えた同ガイドライン Ver2.0を6月14日に発出した。9月25日から10月6日まで、超早割一日券をお持ちの方を対象に超早割特別抽選を実施した。

2025年1月13日以降、2か月前抽選の申込受付を開始、2月13日以降、抽選と結果通知を開始した。3月13日からは7日前抽選の申込受付を開始した。

3月28日には、パビリオン予約における在庫管理システム及び予約認証端末のオペレーションマニュアルを関係者へ発出した。

エ パビリオン出展関係者、公式参加者との調整

公式参加者に対し、2024年5月16日、6月6日の国際ミーティング（オンライン）及び6月25日のIPM 2024 Summerにおいて、パビリオン予約制度の説明と予約制度に参画いただくよう要望を行った。

その他、個別に問い合わせがあった公式参加者や非公式参加者等とも都度打ち合わせを実施し、パビリオン予約制度への参画増への支援も行った。

9月～10月に、要請のあった公式参加者とOSS（咲州）またはオンラインでミーティングを実施した。併せて、10月28日と11月25日に国内民間パビリオン出展者会議にて関係者へパビリオン予約システムに関連する情報共有を行った。

2025年1月17日のOSSの場では、パビリオン予約制度の説明と参加要請を行った。その結果、超早割特別抽選には、8か国・地域・国際機関を含む31のパビ

リオンが参画、2ヶ月前抽選には更に4か国・地域・国際機関を含む5つのパビリオンが参画した。また、7日前抽選には、2か月前抽選の参加国に加えて、新たに3か国のパビリオンが参画した。(イベントは除く。)

(4) 広報活動の実施

ア 各種メディアを活用した広報の実施

公式参加者コンセプト発表等を中心に国内外へ情報発信を行った。また、英語版プレスリリースによる発信を強化し、在日海外メディアへの情報提供を強化した。

各パビリオン、イベント等のコンテンツ発表等を中心に国内外へ情報発信を行った。また、英語版プレスリリースによる発信を強化し、在日海外メディアへの情報提供を強化した。

(参考)

[情報発信を実施した事業]

開幕1年前イベント(4月13日)

ドローンショー(5月15日)

大屋根リングライトアップ取材会(5月16日)

IPM 2024 Summer(6月25、26日)

万博工事見学ツアー(6月30日)

ミャクポンダンス発表イベント(7月17日)

東京・大阪開幕半年前イベント(10月13日)

EXPO ゲストサービスアテンダント入社式(10月15日)

夢洲取材ツアー(12月20日)

年末年始番組、企画の取材、ロケ対応(12月末)

初日の出取材会(2025年1月1日)

TX 開幕100日前特番「未来のタネ」放映(1月3日)

IPM 2024 Summer(1月15、16日)

未来の食の楽しみ発表会~EXPO FOOD COLLECTION 2025~(2月4日)

「大屋根リング」ギネス世界記録認定式(3月4日)

NHK「開幕1か月前特番」放映(3月13日)

「公式ガイドブック(日本語版)」発売(3月19日)

TBS「世界ふしぎ発見」放映(3月22日)

イ メディアセンター、サテライトスタジオ及び会場内放送設備の準備・開設

会期中のメディアによる情報発信に向けたメディアセンター内のマスターコントロールルーム、インターネット回線、ライブ情報カメラ、会場全体の中継用設備、光

回線の敷設等については、5月～8月に事業者と契約を締結し、11月～3月に工事を行い、年度内に整備が完了した。

また、ライブ情報カメラの整備、メディアセンター運営事業者の選定についても最優秀事業者を決定した。

また、メディアセンター実施計画を2025年3月に策定した。

さらに、テレビの中継などで使用するサテライトスタジオにおいては、利用契約の締結を行った放送局がスタジオ放送等を2025年3月から開始した。

ウ 公式 Web サイト、公式 SNS 等での多言語展開による国内外への情報発信

公式 SNS では、公式キャラクターミャクミャクの活動や主要な広報発表、参加国のパビリオン、イベント告知、活動報告、各種動画の公開などの情報を投稿し、フォロワー数の増を図った。

開幕1年前のタイミングで「くるぞ、万博。1 Years to Go」のグラフィックを協会 WEB サイトに取り入れ、ステークホルダー・協会職員への SNS 投稿協力依頼、1年前イベントの告知等、機運醸成に向けた発信を強化した。

公式 Web サイトでは、入場チケットの販売に寄与するために、「ミャクミャクぼん！」「超早割一日券」のランディングページを制作、また「WORK」カテゴリーを新設し、万博で働きたいと考えている方への情報を拡充する等の取り組みを実施した。

公式 SNS では、パビリオンの具体的な中身やイベント情報、活動報告、公式キャラクターミャクミャクの活動などの情報を投稿し、フォロワー数の増を図った。開幕100日前には、会場の様子をドローンで撮影した臨場感のある動画や、スペサポからの年始メッセージ、ステークホルダーへの SNS 投稿協力依頼など、機運醸成に向けた発信を強化した。

公式 Web サイトでは、入場チケットの販売に寄与するために、チケット購入サイトのユーザー導線を検証し、各券種情報へアクセスしやすくするデザイン変更や「今すぐ購入する」ボタンを追加設置するなどの取り組みを実施した。

公式 SNS では、引き続きパビリオンの具体的な中身やイベント情報の他、万博の魅力まとめや雰囲気重視したノンバーバル動画、ネットミームの広がりに乗る投稿などを実施し、フォロワー数の増を図った。

公式 Web サイトでは、ギネス認定に合わせて会場のシンボルである大屋根リングのページを制作する等、来場を検討する方への情報拡充を行った。

エ 海外広報・プロモーションの促進

①海外イベントにおいて万博 PR を実施した。また、②公式参加者と連携した国内開催の対外発信イベント“Dialogue Series: Expo 2025 - Empowering Youth”を実施した。さらに、③国内開催の国際イベントにおいても万博の PR を実施した。加え

て、海外メディアツアーを IPM 2024 Summer のタイミングで併せて実施した（6月27日、26日 11社）。

（参考）

- ①5月2日 フランス OECD 日仏観光イベント・6月5日～8日 上海カーボンニュートラル博覧会・7月11日～14日 フランス JAPAN EXPO・7月12日～15日 台湾タッチジャパン旅行博・7月17日～23日 香港ブックフェア。
- ②4月13日「グローバルトークイベント～SDGs について考えよう～」、5月31日「万博教室 in 近畿大学」③6月7日 日本トルコ協会総会・6月12日 英国市場協議会総会・7月10日日本アラブ経済フォーラム

2024年9月～2025年2月まで海外・国内の国際イベントに積極的に参加し、万博のPRを実施した（下記「参考」参照）。また、2025年のIPMのタイミングで参加国のメディア・学生向けの発信イベント「グローバルショーケース」を実施（1月15日、16日）。また1月16日、17日は在日海外メディアツアーを実施し、19社25名の海外メディアが参加した。2025年2月5日にフォーレンプレスセンター（FPCJ）のオンラインメディアブリーフィングに石毛総長が登壇し、77名の海外メディアと在日大使館関係者が参加。FPCJのウェブのアーカイブで録音動画と資料を掲載し、同動画と資料を広く海外メディア向けに共有した。

（参考）

海外イベントにおいて万博PRを実施した。

- 8月30日～9月1日 タイ バンコク日本博
- 9月13日～15日 中国 広州国際旅行博、
- 9月14日～15日 インドネシア 日本ジャカルタおまつり
- 9月12日～16日 中国 北京サービス貿易交易会
- 9月22日 韓国 ソウル 日韓交流まつり
- 9月23日 米国 NY 観光庁日米観光イベント、国連総会講演
- 11月1日～4日 台湾 台北 台湾 ITF（旅行博）
- 11月4日～10日 UAE アブダビ国際石油展示会
- 11月5日～10日 中国上海 中国国際輸入博
- 11月8日～10日 タイ バンコク FIT Fair 旅行博
- 11月22日～24日 中国上海 中国国際旅行博（※参加調整中）
- 11月27日 中国北京 関西財界中国ミッション派遣時の北京観光イベント
- 12月5日～8日 スペイン バルセロナ Manga Barcelona 展
- 12月11日 スイス ベルン、チューリッヒ 現地商工会議所イベント等

12月19日 台湾 iPASS×万博のコラボイベント
2025年
1月25日～26日 米国 ニューヨーク TRAVEL AND ADVENTURE SHOW
1月31日～2月1日 インド旅行博
2月3日、5日 オーストラリア シドニー、パース Japan Roadshow 2025
2月7日～9日 タイ バンコク ジャパン・エキスポ
2月22日～23日 米国 ロサンゼルス TRAVEL AND ADVENTURE SHOW
2月22日～24日 香港旅行博
2月22日～24日 フィリピン マニラ旅行博
2月24日 チェコ プラハ 天皇誕生日レセプション（プラハ）
2月25日～28日 イタリア ローマ、ヴェネツィア ヴェネツィアカーニバル他
3月8日～9日 ベトナム ホーチミン Japan Vietnam Festival

国内開催の国際イベントにおいて万博のPRを実施した。

10月23日、26日～17日「IGLT世界総会およびレインボーフェスト」@大阪
11月5日 「万博教室 in 青山学園大学」
12月13日～14日 日ASEAN ヤングビジネスリーダーズサミット@京都
2025年1月8日 「万博教室 in 西町インターナショナル」
1月22日 「関西空港 春節インバウンド向け歓迎イベント」
国内イベントにおいて万博PRを実施した。

2025年3月5日 「万博教室 in 神戸インターナショナルスクール」
3月7日 「万博教室 in 東京アメリカンスクール」
3月13日「万博教室 in 東京ブリティッシュスクール」
3月19日「万博教室 in カナダインターナショナルスクール@カナダ大使館」
3月22日 デンマーク&スペイン EXPO フェスティバル@大阪

海外メディアに対する取材対応を実施した。

- ① 外務省主催在日海外メディアツアーで万博会場を取材
3月25日、26日 万博会場視察&高科副事務総長、プロデューサー等取材
(12社参加)
- ② 3月21日 日本外国特派員協会メンバー取材(3社参加)
個別海外メディア対応：仏2社、Parisian Weekend、France24、台湾2社「今周刊」「天下雑誌」、UAE「Shawat Magazine」、外務省招へい、カンボジアインフルエンサー（外務省招へい）等

3 公式参加者への対応と支援

(1) 公式参加者への対応

ア 万博の実施に向け、博覧会国際事務局（B I E）と連絡・調整を行う

2024年4月23日に博覧会国際事務局（B I E）の執行委員会、同26日に情報コミュニケーション委員会がフランス・パリにおいて開催され、6月18日には総会がオンラインで開催された。これらの会議において、協会は万博開催の準備状況に関するプレゼンテーションを行い、各国・地域に対して準備の加速を呼びかけた（執行委員会は櫛副事務総長、総会は石毛事務総長が発表）。

また、4月、6月及び8月のB I Eケルケンツェス事務局長の訪日機会を活用し、同氏と十倉会長、石毛事務総長等との間で意見交換を行った。

10月11日から14日にかけて博覧会国際事務局（B I E）の情報コミュニケーション委員会及び執行委員会が、同年11月26日には総会がフランス・パリで開催された。これらの会議において、協会は万博開催の準備状況に関するプレゼンテーションを行い、各国・地域に対して準備及びプロモーションの加速を呼びかけた（情報コミュニケーション委員会及び執行委員会は櫛副事務総長、総会は石毛事務総長が発表）。

また、2024年10月、同年11月及び2025年1月に、B I Eケルケンツェス事務局長と十倉会長、石毛事務総長等との間で意見交換を行った。

イ 昨年度に引き続き International Participants Meeting（国際参加者会議）を開催し、最新情報の提供や質疑応答を通じ、公式参加者の理解促進、出展準備の加速を図る

2024年6月25日・26日に奈良県コンベンションセンターにおいて「国際参加者会議2024年夏（IPM 2024 Summer）」を開催した。本会議には約160か国・地域、国際機関の国際博覧会責任者が出席し、万博準備の重点が建築から運営にシフトする中で、公式参加者がパビリオンをいかに運営していくかといった具体的な情報共有や意見交換のためのセッションが行われた。

あわせて、出展タイプに応じた分科会も開催し、内装展示や運営等に関するより実践的なガイダンスを提供した。

また、公式参加者に独自のテーマウィークプログラム等を積極的に企画・実施してもらうためのヒントとなることを目的に、特別セッションも実施した。

2025年1月15日・16日にアクリエひめじ（兵庫県姫路市）において「国際参加者会議2025年（IPM 2025）」を開催した。本会議には約160か国・地域、国際機関の国際博覧会責任者が出席し、開幕を4月に控え、万博準備の中心が建設からイベント、運営、広報・機運醸成の3つへと大きくシフトする中で、フェイス・トゥ・フェイスでの情報提供に加え、リアル会合ならではの、公式参加者同士による

進捗共有等もなされた。

また、15の公式参加者と3つのシグネチャーパビリオンによる魅力発信の場として、「Pavilion Showcase Forum」を実施した。

ウ 公式参加者宿舎の申込受付・決定、宿舎管理・運営に係る準備を行い、2025年3月[一部2024年12月]からの円滑な宿舎入居を支援する

2024年3月末に発出した公式参加者宿舎ガイドラインに基づき、同宿舎への申込を4月22日から5月17日まで受け付けた。5月末に割当結果を通知し、同結果の受領確認を経て、7月末に契約書を発送した。

また、締め切り後も引き続き申込を受け付けるとともに、7月には宿舎の入居資格を拡大し、8月末までに拡大分を含む割当結果を通知した。

宿舎を申し込んだ公式参加者と順次賃貸借契約を締結した。守口宿舎は、2024年11月に宿舎ガイドブックを作成し、2025年1月から入居を受け入れた。梅田宿舎及び東喜連宿舎は、2025年1月に宿舎ガイドブックを作成し、3月から入居を受け入れた。

エ 公式参加者支援のためのワンストップショップ(OSS)のさらなる機能強化を図るとともに、2025年1月にはOSSセンターを夢洲会場内に設け、公式参加者に寄り添った形での運営支援を実施する

2024年4月のケルケンツェス事務局長来日時に、OSSの機能と体制の拡充要請あり。これを受けて、分野ごとの機能を整理したうえで、関係機関等へ協力を要請し、建築、レストラン営業、物流等26分野に関する相談を公式参加者から一元的に受け付け、申請手続き等をサポートする体制を構築した。

6月18日、BIE総会にて石毛総長から上記体制によるOSSの開設を公式アナウンスするとともに、同日、OSSガイドブックをリリース。6月24日、咲州庁舎47階にOSSをオープン。IPM 2024 Summer 前後の6月24日、27日、28日にOSSで個別相談会を開催し、計1,784件の相談対応を行った。

2024年6月のOSSオープン以来、9か月での累計相談件数は7,230件ののぼり、公式参加者が持つハード、運営面での課題を解決するために、OSSの各分野の専門家が寄り添って、効果を出すことができた。また、必要となる申請もスムーズに一元化して行うことができた。公式参加者の万博準備のフェーズが運営分野に移行するなかで、公式参加者のニーズに合わせて、継続的に関係機関へ派遣増員を要請する等、OSS内の人員体制整備を行った。

また、IPM 2025に合わせて、1月14日～17日にOSS個別相談会ならびに銀行口座開設会を開催し、計1,671件の相談を受け付けた。

(2) 途上国支援プログラムの準備・実施

ア 政府と予算協議を行いつつ、政府の委託等で関連事業を実施する機関（JICA 等）とも連携し、支援内容の具体的プログラムの企画・調整を進め、公式参加者に対し情報提供を行う。また、途上国支援プログラムの対象となる公式参加者パビリオン等の展示内装工事や運営の準備作業を担う事業者を選定し、支援事業を実施する

2024年2月に発出した途上国支援プログラムに関するガイドブックに基づき、公式参加者（途上国）から各支援項目に関する申請フォームを受理し、支援に向けた準備を行った。

支援を実施する受託事業者（途上国支援対象タイプC共同館の展示内外装施工及び運営準備業務、途上国支援対象国のPR施策業務、途上国支援対象国出展館の展示施工等業務）を提案公募で選定し、具体的な支援業務に着手した。

また、IPM 2024 Summerに参加する途上国に対する招聘事業を実施した。

途上国支援プログラムに関するガイドブックに基づき、公式参加者（途上国）から各支援項目に関する申請フォームを受理し、支援を実施する受託事業者との調整等を通じて、各パビリオンやバーチャル展示にかかる展示コンテンツ、会期に向けた運営準備、展示品の輸送（往航）、各国スタッフ等の訪日支援の準備等を行った。

また、IPM 2025に参加する途上国に対する招聘事業を実施した。

(3) 展示・内装工事支援

ア 公式参加者パビリオンの展示・内装工事がスムーズに行われるよう支援する

公式参加者と展示内装事業者との円滑な契約促進の支援を目的にした展示内装プロジェクトチームの活動を昨年度より継続。入札参加や関心表明につなげる取り組みとして、公式参加者から展示内装サプライヤーへのオンライン情報提供会を2024年5月23日、6月18日に実施した。

また、6月27日にはIPM 2024 Summerでの来日期間をとらえて、公式参加者と展示内装サプライヤーとの個別相談会を33件実施した。

さらに、並行して、展示内装サプライヤー向け説明会を4月25日、5月31日に開催し、パビリオン展示の概況や会場の整備状況などの情報を提供した。

加えて、途上国支援を実施する受託事業者（途上国支援対象共同館の展示内外装施工業務、途上国支援対象国出展館の展示施工等業務）を提案公募で選定し、具体的な支援業務に着手した。

展示・内装工事を円滑に進めるための内装監理室を9月12日に立ち上げ、事業者と工区統括ゼネコンとの意思疎通、展示計画図面の審査を行った。

また、One Stop Shopにおいては公式参加者、設計者、施工者からの相談に対応し、公式参加者のスムーズな万博準備に寄与した。

共同館の展示・内装については、公式参加者との連携を密にし、サプライヤーリス

トの提供を行うなど各公式参加者による展示・内装工事が円滑に行われるよう支援した。

加えて、途上国支援を実施する受託事業者との調整等を通じて、支援対象国の各パビリオンの共用部及び各国展示施工を実施した。

4 事務局体制の整備・強化と財政基盤の確立

(1) 事務局体制の整備・強化

ア 効率的・効果的な事務局体制の整備・強化、国・経済界・自治体などからの業務に応じた専門人材の確保等

国・経済界・自治体等に対して専門人材等の派遣要請を行った結果、2024年4月1日時点で769名体制、2025年3月31日時点で871名体制に増員し、事務局体制の強化を行った。人員の配置については、万博の会期も見据えた効果的・効率的な配置を行った。

イ 会期中運営体制の構築

博覧会会期中の運営体制を構築するため、協会事務局の組織について部および課を廃止し、局長レベルで責任をもって判断する体制に向けて段階的に組織再編を実施することが理事会において承認された。会期中組織体制への移行は、理事会の承認を踏まえ、2025年1月から段階的に進め、2025年3月1日に完了した。

ウ コンプライアンスの強化及び徹底

- ・ 4月26日にコンプライアンス委員会を開催し、協会内のコンプライアンスの徹底を確認した。
- ・ 4月30日にコンプライアンスの手引きを発行した。
- ・ 5月24日より深い習熟を希望した国際局に対し、コンプライアンス研修を行った。
- ・ 7月23日に文書管理の手引きを発行した。
- ・ 11月8日にコンプライアンス委員会を開催し、前期の取り組み内容や、不適切事案の周知・改善策の共有を行うなど、協会内のコンプライアンスの徹底を確認した。
- ・ 12月26日の理事会において策定した内部統制システム案の承認を受けた。
- ・ 1月20日に個人情報取扱規程の改正及び取扱留意事項の作成を行った。
- ・ 3月28日に個人情報保護方針の改訂を行い、万博 ID ガイドを公表した。

また、コンプライアンスの「理解の定着・深化」→「実施・検証」→「改善」のサイクルを回し、協会職員に一層の理解を求めるため、以下の取組を進めた。

〔コンプライアンス通信の発行〕

- ・ 4月16日にコンプライアンス通信第4号（職員の責務等について）を発行した。
- ・ 8月5日にコンプライアンス通信第5号（夏季のコンプライアンス上の注意事項について）を発行した。
- ・ 11月11日 コンプライアンス通信第6号（コンプライアンス違反事例の紹介と留意いただくポイントについて）を発行した。
- ・ 12月2日 コンプライアンス通信第7号（年末年始の会食贈答の機会に注意することについて）を発行した。

〔コンプライアンス研修の実施〕

- ・ 5月20日にコンプライアンス研修①（みなし公務員）を実施した。
- ・ 5月31日にコンプライアンス研修②（情報の取り扱い）を実施した。
- ・ 6月17日にコンプライアンス研修③（利害関係者）を実施した。
- ・ 6月24日にコンプライアンス研修④（入札談合防止）を実施した。
- ・ 7月11日にコンプライアンス研修⑤（契約事務の留意事項）を実施した。
- ・ 7月29日にコンプライアンス研修⑥（暴排）を実施した。
- ・ 8月5日にコンプライアンス研修⑦（コンプライアンス違反を起こさないために）
- ・ 12月3日にコンプライアンス研修⑧（ケーススタディ①）を実施した。
- ・ 1月21日にコンプライアンス研修⑨（個人情報保護）を実施した。

（2）財政計画の策定と予算の効率化・効果的な執行

ア 博覧会基本計画に沿った資金の調達

2025年3月に260億円の借入を継続した。

イ 予算執行段階における事業実施方法の検証、コスト削減

万博の準備のため、入場券売上等を原資に実施する運営費事業に関し、協会役員を構成員とする運営費執行管理会議をこれまでに5回開催した（第一回2024年3月5日、第二回2024年5月1日、第三回2024年8月8日、第四回2024年11月6日、第五回2025年2月19日）。

さらに経済産業省において設置された2025年大阪・関西万博予算執行監視委員会において博覧会協会における予算執行管理について引き続き説明を行った（第三回2024年5月27日、第四回2024年7月29日、第五回2024年10月2日、第六回2025年1月23日）。

そのほか、調達プロセスのチェック体制を強化し、最適な調達手法の選択等、効率かつ効果的な調達を行う環境を整備し、企業協賛や各種補助金等、新たな収入確保策にも取り組んだ。2024年10月から運営費事業の適正執行を目的として財務部門での一括管理型予算マネジメントを行うこととし、全体最適化の予算運用

を図った。

ウ 収納債権管理体制の構築

5月22日に収納・債権管理業務に係る業務委託先を競争入札により選定し、業務体制構築に向けて受託者と協力して準備を進めた。

また、5月21日に、ユーティリティ（電気、上下水、冷水）の供給約款を制定するとともに、ユーティリティ使用開始に必要な手続等については、協会内及び公式・非公式参加者への周知・説明等を順次実施した。

開幕に向けて実務内容の具体的検討・調整を実施し、これらを反映すべく、収納・債権管理業務に係る業務委託の変更契約を2024年12月に締結した。

使用希望者に対するユーティリティ供給及び使用料金の請求を以下のとおり開始した。

電気：2024年6月

上水：2024年7月

下水：2024年12月

(3) 財政基盤強化に向けた具体的な資金調達

ア 寄附金の募集・拡充に向けた取り組み

寄附を検討している個人・企業等に対し寄附の依頼を継続して実施した。

イ 補助金等各種資金の活用

大阪・関西万博協賛競輪を29開催（向日町競輪場、宇都宮競輪場、岐阜競輪場、青森競輪場、熊本競輪場、川崎競輪場、別府競輪場、弥彦競輪場、京王閣競輪場（10月）、防府競輪場、小倉競輪場、大垣競輪場（12月）、松山競輪場、広島競輪場、佐世保競輪場、静岡競輪場、立川競輪場、和歌山競輪場、大宮競輪場、松阪競輪場、京王閣競輪場（1月）、高松競輪場、奈良競輪場、豊橋競輪場、名古屋競輪場、玉野競輪場、大垣競輪場（3月）、四日市競輪場、伊東温泉競輪場）いただき、機運醸成にご協力いただいた。

5 社員総会・理事会の開催

(1) 理事会（2024年4月1日）

開催方法：決議省略の方法による

審議事項

- ・理事選任・報酬額の決定について、臨時社員総会を開催することなく書面決議の方法により付議する件
- ・副事務総長・業務執行理事の選定の件

- ・副事務総長の職務権限規程の改定の件
- ・会長職を代行する副会長、事務総長及び副事務総長の順序を定める件

出席等

提案書に対し、理事34名全員の書面による同意及び監事2名全員の書面による確認の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

(2) 社員総会（2024年4月1日）

開催方法：決議省略の方法による

審議事項

- ・理事1名選任の件
- ・副事務総長（東川 直正）の報酬額の決定の件

出席等

提案書に対し、社員11名全員の書面による同意の意思表示を得た日をもって、社員総会の決議があったものとみなされた。

(3) 理事会（2024年6月5日）

開催方法：決議省略の方法による

審議事項

- ・2023年度決算に係る計算書類等の承認の件
- ・定時社員総会の開催に関する件

出席等

提案書に対し、理事33名全員の書面による同意及び監事2名全員の書面による確認の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

(4) 社員総会（2024年6月27日）

開催方法：NCB会館「松の間」を開催場所として、Web会議システム（利用サービス名：Zoom）の併用による会議

審議事項

- ・理事の選任の件
- ・2023年度決算に係る計算書類の承認の件

報告事項

- ・2023年度の事業報告の件
- ・2024年度の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の報告の件

出席等

議決権行使書面提出者（書面表決者）4名、Web表決者名1名、出席者6名

の社員 11 名全員

(5) 理事会 (2024年6月27日)

開催方法：NCB 会館「松の間」を開催場所として、Web 会議システム（利用サービス名：Zoom）の併用による会議

審議事項

- ・ 副会長及び業務執行理事・副事務総長の選定の件
- ・ 会長職を代行する副会長、事務総長及び副事務総長の順序を定める件
- ・ 事業報告等に係る提出書類の提出承認の件
- ・ 会計監査人の報酬額決定の件
- ・ 2025年度電気調達 の件
- ・ 2025年日本国際博覧会 ペット同伴来場実施の件
- ・ 舞洲会場外（パーク&ライド）駐車場シャトルバス運行業務委託の変更の件
- ・ 会場整備にかかる工事等の変更の件
- ・ タイプX・空地の活用の件
- ・ チケット販売の促進策の件

報告事項

- ・ 運営費及び会場建設費の執行状況の件
- ・ 会期中組織の件
- ・ 2023年度寄附金受領の件
- ・ 大阪・関西万博の機運醸成に関する件
- ・ 「公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 人権方針」策定の件
- ・ イベントの現状の件
- ・ 博覧会会場内の交通の件
- ・ 災害対策の検討状況の件
- ・ 万博P&R利用料金の件
- ・ 夢洲北岸浮棧橋の利用料の件
- ・ 褒賞制度に関する特別規則第14号制定の件
- ・ 海外パビリオンの状況の件
- ・ 大屋根リングのリユースの実施の件

出席等

理事現在数	34名	定足数	18名	出席理事数	25名
監事現在数	2名	出席監事数	2名		

(6) 理事会 (2024年6月28日)

開催方法：決議省略の方法による

審議事項

- ・公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 事務局組織規程の一部改定の件
- ・副事務総長の職務権限規程の改定の件

出席等

提案書に対し、理事34名全員の書面による同意及び監事2名全員の書面による確認の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

(7) 理事会（2024年9月13日）

開催方法：大阪国際会議場 10階「1004～1007」を開催場所として、
Web会議システム（利用サービス名：Zoom）の併用による会議

審議事項

- ・会期中組織への移行の件
- ・メタンガス対策の件
- ・タイプXのC活用等、休憩所等整備の件
- ・会場整備にかかる工事等の変更の件
- ・夢洲地区交通ターミナル及び舞洲地区会場外駐車場等建築物の賃貸借の契約変更の件
- ・紙チケットの来場日時予約なしでの利用条件の件
- ・2025年日本国際博覧会ペット同伴来場実施見送りの件

報告事項

- ・運営費及び会場建設費の執行状況の件
- ・会長、事務総長及び副事務総長の職務の執行状況の件
- ・大阪・関西万博の機運醸成に関する件
- ・イベントの現況の件
- ・会場内・外周バス乗車料金の件
- ・桜島駅シャトルバスの準備状況の件
- ・公式参加者による運営委員会等の件
- ・海外パビリオンの出展状況の件
- ・防災実施計画の策定の件

出席等

理事現在数	34名	定足数	18名	出席理事数	26名
監事現在数	2名	出席監事数	2名		

(8) 理事会（2024年10月11日）

開催方法：決議省略の方法による

審議事項

- ・ 理事選任・報酬額の決定について、臨時社員総会を開催することなく書面決議の方法により付議する件
- ・ 副事務総長・業務執行理事の選定の件
- ・ 副事務総長の職務権限規程の改定の件
- ・ 会長職を代行する副会長、事務総長及び副事務総長の順序を定める件

出席等

提案書に対し、理事34名全員の書面による同意及び監事2名全員の書面による確認の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

(9) 社員総会（2024年10月11日）

開催方法：決議省略の方法による

審議事項

- ・ 理事1名選任の件
- ・ 副事務総長（水谷 徹）の報酬額の決定の件

出席等

提案書に対し、社員11名全員の書面による同意の意思表示を得た日をもって、社員総会の決議があったものとみなされた。

(10) 理事会（2024年11月15日）

開催方法：決議省略の方法による

審議事項

- ・ 役員賠償保険の件
- ・ 会期中組織への移行に伴う規程の一部改定の件

出席等

提案書に対し、理事35名全員の書面による同意及び監事2名全員の書面による確認の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

(11) 理事会（2024年11月29日）

開催方法：決議省略の方法による

審議事項

- ・ 指定寄附金の指定申請の件
- ・ 寄付受入に関する件
- ・ 保険に関する件

出席等

提案書に対し、理事35名全員の書面による同意及び監事2名全員の書面によ

る確認の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

(12) 理事会（2024年12月26日）

開催方法：東京国際フォーラム5階「G510」を開催場所として、Web会議システム（利用サービス名：Zoom）の併用による会議

審議事項

- ・職員就業規程改定及び非常勤職員就業規程策定の件
- ・内部統制システムの整備の件
- ・大阪・関西万博安全確保事業の変更の件
- ・途上国出展支援事業の受託契約（経産省）及び共同館（タイプC）展示・運營業務の発注の件

報告事項

- ・チケットの販売状況と機運醸成についての件
- ・運営費及び会場建設費の執行状況の件
- ・イベントの現況の件
- ・施設・設備等のリユースの件
- ・博覧会会場における大型荷物の取り扱いの件
- ・会場内営業施設の概要の件
- ・万博会場への交通アクセス及びサービスの案内状況の件
- ・IPM2025の開催の件
- ・海外パビリオンの状況の件
- ・暑熱対策に関する件

出席等

理事現在数	35名	定足数	18名	出席理事数	29名
監事現在数	2名	出席監事数	2名		

(13) 理事会（2025年1月17日）

開催方法：決議省略の方法による

審議事項

- ・理事選任について、臨時社員総会を開催することなく書面決議の方法により付議する件
- ・副会長の選定の件
- ・会長職を代行する副会長、事務総長及び副事務総長の順序を定める件

出席等

提案書に対し、理事35名全員の書面による同意及び監事2名全員の書面による確認の意思表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

(14) 社員総会（2025年1月17日）

開催方法：決議省略の方法による審議事項

- ・理事1名選任の件

出席等

提案書に対し、社員11名全員の書面による同意の意思表示を得た日をもって、社員総会の決議があったものとみなされた。

(15) 理事会（2025年3月17日）

開催方法：大阪国際会議場 10階「1004～1007」を開催場所として、Web会議システムの併用による会議

審議事項

- ・2025年度事業計画、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の承認の件
- ・会期中の協会事務局組織体制の件
- ・「大阪・関西万博日本政府出展事業(仮称)」の受託及び「日本政府館展示制作・施工及び運営実施業務(仮称)」の委託契約の件（令和6年度補正予算）
- ・途上国出展支援事業（令和7年度当初予算）の受託契約（経産省）の件

報告事項

- ・運営費及び会場建設費の執行状況の件
- ・会長、事務総長及び副事務総長の職務の執行状況の件
- ・指定寄附金の申請金額の件
- ・イベントの現況の件
- ・万博会場への交通アクセス及びサービスの案内状況の件
- ・公式参加者の準備状況（宿舎）の件
- ・メタンガス対策の件
- ・万博における環境の取組と施設・設備等のリユースの件
- ・チケットの販売状況と機運醸成についての件

出席等

理事現在数	35名	定足数	18名	出席理事数	29名
監事現在数	2名	出席監事数	2名		

6 役員就退任

- ・2024年 4月 1日 理事及び副事務総長就任（東川 直正氏）
- ・2024年 5月16日 理事及び副会長退任（角元 敬治氏）
- ・2024年 6月27日 理事及び副会長就任（宮部 義幸氏）

- ・ 2024年10月15日 理事及び副事務総長就任（水谷 徹氏）
- ・ 2024年12月31日 理事及び副会長退任（塚本 能交氏）
- ・ 2025年 1月17日 理事及び副会長就任（堀場 厚氏）

7 事務局体制

（1）職員数の推移

- ・ 2024年4月 1日 職員769名に増員
- ・ 2025年3月31日 職員871名に増員

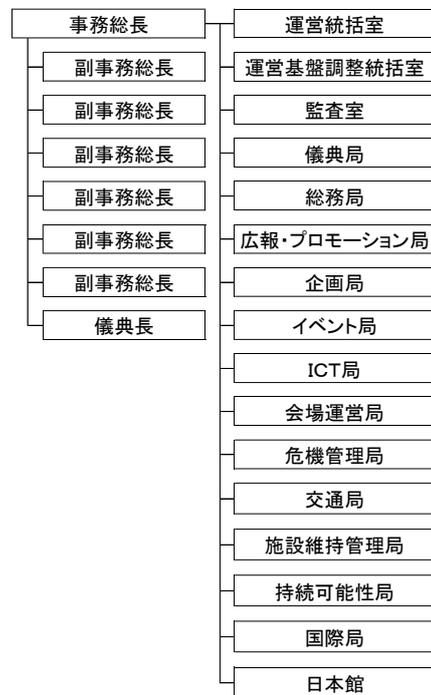
（2）事務局組織の変遷

- ・ 2024年4月1日 国際部を企画支援部と参加調整部の2部に分割
- ・ 2024年7月1日 運営基盤調整統括室を新設
- ・ 2024年10月15日 副事務総長を増員。
- ・ 2025年1月1日 儀典長を新設。
総合戦略室と経営企画室を統合し、運営統括室を新設。
総務局を儀典局、総務局の2局に分割し、総務局の部・課を廃止。
持続可能性部を企画局から独立して持続可能性局を新設し、
持続可能性局の部・課を廃止。
整備局の名称を施設維持管理局に変更し、部・課を廃止。
日本館を新設。
- ・ 2025年3月1日 広報・プロモーション局、企画局、イベント局、ICT局、
会場運営局、危機管理局、交通局、国際局の部・課を廃止。

【2024年4月1日時点組織図】



【2025年3月31日時点組織図】



8 業務の適正を確保するための体制及びその運用状況の概要

(1) 理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

【体制】

- 1) 監事による監査を年2回実施する。
- 2) 理事を対象とするコンプライアンス研修を実施する。

【運用状況の概要】

- 1) 2024年4月～5月および2024年11月～12月にて監事による監査を実施している。
- 2) 理事への都度の問い合わせに対応できるような体制を整備し、コンプライアンスに係る説明・個別相談を求められた際には適切に対応した。

(2) 理事の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

【体制】

- 1) 「文書管理規程」において、文書の取り扱い及び保管その他の文書管理を行うことを定める。
- 2) 定款の定めにおいて、理事会承認を受けた協会の事業報告及び計算書類等を5年間、主たる事務所に据え置く。
- 3) 理事会資料のレベルを設けて管理するなど、適切な情報管理を行う。
- 4) 理事会資料・議事録の作成・公表・保管を行う。

【運用状況の概要】

- | |
|---|
| 1) 起案して決裁が終わった文書は決裁要領に記載された所定の場所に、発議者/起案者が保存用フォルダを作成し、保存している。文書の保存期間は5年としている。 |
| 2) 事業報告及び計算書類等を含む、第1回以降の理事会資料一式を、咲洲オフィス内に据え置いている。 |
| 3)、4) 理事会資料・議事録は紙・電子資料を回ごとにファイル分けして保管・管理するとともに、理事会終了後協会HP上で公開している。 |

(3) 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

【体制】

- 1) 「会計規程」に基づき設置された最高財務責任者（CFO）が、予算の適正な管理のための会議を定期的開催し、関係局長等に対して収支に関する報告を求め、予算の編成や執行状況等を把握するとともに、必要に応じて関係局長等に助言又は勧告を行う。
- 2) 監査室を設置し、「内部監査規程」において定めるところに従い、同室が内部監査を行うとともに、その結果を事務総長へ報告し、必要に応じて適切な是正手段を講じる。

【運用状況の概要】

- | |
|---|
| 1) CFO 下命により定期的に各局毎にヒアリングを行っており、CFOにはその旨報告を行うとともに、必要に応じて各局に予算執行について助言・勧告を行ってきた。 |
| 2) 2024年度は、全部局を対象に契約に関する経常的な業務監査を実施した。また、テーマ監査、ISO監査についても実施した。併せて、監査の結果、是正措置が必要なものについては、措置状況について事後に確認を行った。監査結果及び措置状況について、11月及び3月に事務総長へ報告した。 |

(4) 理事の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

【体制】

- 1) 「事務決裁規程」において、代表理事、副事務総長、局長等の決裁権限を、「副事務総長の職務権限規程」において、各副事務総長の所管業務を定め、当該各規程において定めるところに従い、事務の円滑かつ適正な執行を確保するとともに責任の明確化を図る。

- 2) 万博における重要課題については専門家や有識者からなる各種委員会を設け、専門的視点から意見、提案を求める)
- 3) 理事の多様性を確保し、多様な視点・価値観に基づく意思決定を行う体制を構築する。

【運用状況の概要】

<p>1) 各起案は「事務決裁規程」、「副事務総長の職務権限規程」に基づき決裁者を設定し、決裁手続きを行っている。</p>
<p>2) 専門家や有識者からなる各種委員会を以下のとおり実施した。</p> <p>【持続可能性有識者委員会】</p> <p>2025年1月に「第11回持続可能性有識者委員会」を開催し、持続可能な万博開催にむけた検討を行った。また同委員会のもとに設置した持続可能な調達、脱炭素、資源循環、人権に関するワーキンググループを8回開催した。</p> <p>【機運醸成委員会】</p> <p>2024年4月4日に第3回機運醸成委員会、10月3日に第4回機運醸成委員会、2025年2月10日に第5回機運醸成委員会を開催し、機運醸成活動のPR重点期間に向けた取組方針及びチケット販売促進の改善等について意見交換を行った。</p> <p>【財務委員会】</p> <p>2024年11月18日に財務委員会を書面開催し、以下議案について決議を行った。</p> <p>第1号議案：副委員長を選任の件</p> <p>第2号議案：指定寄附金の申請の件</p>
<p>3) 理事は研究機関、企業や官庁など多様な経歴を持つ者から構成され、各々の専門的知識や知見に基づき、理事会における審議を行っている。なお協会理事総数35名中、女性理事は14名である。</p>

(5) 使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

【体制】

- 1) 協会の業務執行の公正性を確保することを目的とした「コンプライアンス規程」、職務に係る倫理を保持することを目的とした「役職員の職務上の倫理に関する規程」をそれぞれ制定及び公表する
- 2) 「コンプライアンス規程」において、当該規程の実効性を確保し、協会事務局におけるコンプライアンスを推進するため、各局長で構成するコンプライアンス委員会を設置することを定める。
- 3) 職員を対象とするコンプライアンス研修を実施し、意識の向上を図る。
- 4) 役員・職員の法令違反行為等に関する内部通報に対応するため、「内部通報規程」に基づき内部・外部窓口を設置する)

【運用状況の概要】

1) 「コンプライアンス規程」は2023年3月13日から施行されている。 また、「役職員の職務上の倫理に関する規程」は2020年1月1日に施行されている。
2) 2024年度は4月26日、11月8日にコンプライアンス委員会を開催し、協会内のコンプライアンスの徹底を確認した。
3) 協会内の職員向けに2024年度コンプライアンス研修を以下のとおり実施した。 ・5月20日にコンプライアンス研修①（みなし公務員）を実施した。 ・5月31日にコンプライアンス研修②（情報の取り扱い）を実施した。 ・6月17日にコンプライアンス研修③（利害関係者）を実施した。 ・6月24日にコンプライアンス研修④（入札談合防止）を実施した。 ・7月11日にコンプライアンス研修⑤（契約事務の留意事項）を実施した。 ・7月29日にコンプライアンス研修⑥（暴排）を実施した。 ・8月5日にコンプライアンス研修⑦（コンプライアンス違反を起こさないために） ・12月3日にコンプライアンス研修⑧（ケーススタディ①）を実施した。 ・1月21日にコンプライアンス研修⑨（個人情報保護）を実施した。
4) 内部通報窓口を以下のとおり設置し、相談・通報を受け付けた。 ・内部窓口を総務局コンプライアンス担当とした。 ・外部窓口を外部の弁護士事務所に委託した。

（6）理事及び使用人が監事に報告をするための体制その他の監事への報告に関する体制

【体制】

- 1) 監事による監査を年2回実施する。
- 2) 「理事会運営規程」において、監事が出席する理事会で、代表理事と業務執行理事による職務の執行状況等の報告義務を定める。
- 3) 定款において、監事による、理事及び使用人に対する事業の報告を徴求する権限並びに協会の業務及び財産の状況の調査を行う権限を定める。
- 4) 「内部通報規程」において、役員に関係する又は関係すると疑われる通報対象行為については、監事と協議することを定める。

【運用状況の概要】

1) 2024年4月～5月および2024年11月～12月にて監事による監査を実施している。
2) 2024年9月13日臨時理事会において第1回の2024年度事業活動概況報告を、2025年3月17日の定時理事会において、第2回の同報告を行った。
3) 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会定款第23条3項において監事による理事及び使用人に対する事業の報告を徴求する権限並びに協会の業務及び財産の状況の調査を行う権限を定めている。
4) 役員に関係する又は関係すると疑われる通報対象行為はなかった。

(7) 前号の報告をした者が当該報告をしたことを理由として不利な取扱いを受けないことを確保するための体制

【体制】

- 1) 「内部通報規程」において、役職員が法令等に違反する行為について通報もしくは相談、又は調査協力をしたことを理由に、不利益な取扱いを行ってはならないことを定める。

【運用状況の概要】

1) 公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会内部通報規程の第 11 条に窓口利用者等の保護を設けており、調査に協力した役職員が不利益な取扱いを受けないことを徹底している。
--

(8) 監事の職務の執行について生ずる費用の前払又は償還の手続その他の当該職務の執行について生ずる費用又は債務の処理に係る方針に関する事項

【体制】

- 1) 「役員の報酬等並びに費用に関する規程」において、監事の職務に伴う費用や報酬の支払いについて定める。

【運用状況の概要】

1) 公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会役員の報酬等並びに費用に関する規程において監事の職務に伴う費用や報酬の支払いについて定めている。

(9) その他監事の監査が実効的に行われることを確保するための体制

【体制】

- 1) 法律、会計その他の監査の実効性を高めるために、必要な知見及び経験を有する専門家等を監事として登用する。
- 2) 監事監査後、監事は事務総長及び副事務総長と面談し意見交換を行う。
- 3) 監事は監査報告を行うにあたり、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受ける。

【運用状況の概要】

1) 2025 年 3 月末時点における協会の監事は、小原正敏（きっかわ法律事務所 代表弁護士）と中務裕之（中務公認会計士・税理士事務所所長 公認会計士・税理士）の 2 名で、いずれも十分な専門性と知見を有するものと判断している。

2) 監事は 2024 年 5 月および 2024 年 12 月にて事務総長及び副事務総長との面談を実施している。

3) 監事は 2024 年 5 月に会計監査人から監査実施結果の報告を受け監査報告を行っている。
--

9 主な契約案件

- (1) 令和5年度補正大阪・関西万博安全確保事業(変更契約)
- ・ 契約の相手方 経済産業省
 - ・ 契約金額 19,908,907,999円(税込)
 - ・ 変更金額(増額) 2,501,035,193円(税込)
 - ・ 契約日 2024年3月26日
 - ・ 契約期間 2024年1月22日～2026年1月30日
- (2) 令和5年度補正大阪・関西万博政府開催準備事業(途上国出展支援事業)
- ・ 契約の相手方 経済産業省
 - ・ 契約金額 6,596,126,000円(税込)
 - ・ 契約日 2024年3月27日
 - ・ 契約期間 2024年3月27日～2025年3月31日
- (3) 令和5年度補正大阪・関西万博日本政府出展事業
- ・ 契約の相手方 経済産業省
 - ・ 契約金額 7,947,897,410円(税込)
 - ・ 契約日 2024年4月1日
 - ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日
- (4) 2025年日本国際博覧会 施設整備事業(PW 北東工区) A48 パビリオン(建設工事)
- ・ 契約の相手方 大林組・大鉄工業・TSUCHIYA 共同企業体・株式会社安井建築設計事務所
 - ・ 契約金額 414,810,000円(税込)
 - ・ 契約日 2024年4月1日
 - ・ 契約期間 2024年4月1日～2024年10月31日
- (5) 2025年日本国際博覧会万博会場交通ターミナル・駐車場等運営監視システムサービス提供業務
- ・ 契約の相手方 アイテック阪急阪神株式会社
 - ・ 契約金額 508,263,800円(税込)
 - ・ 契約日 2024年4月1日
 - ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年12月31日
- (6) 舞洲万博 P&R 駐車場用地(A)の土地転貸借契約
- ・ 契約の相手方 美津濃株式会社
 - ・ 契約金額 233,212,379円(税込)
 - ・ 契約日 2024年4月1日
 - ・ 契約期間 2024年4月1日～2026年3月31日
- (7) 万博専用アクセスルートとして活用する建設中の淀川左岸線(2期)区間の整備に関する基本協定書
- ・ 契約の相手方 大阪市建設局長
 - ・ 契約金額 2,900,000,000円(税込)
 - ・ 契約日 2024年4月1日
 - ・ 契約期間 2024年4月1日～本整備の清算手続きが完了する日まで
- (8) 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会 ESMS 構築支援業務(その4)
- ・ 契約の相手方 EY 新日本監査法人

- ・ 契約金額 110,000,000円 (税込)
 - ・ 契約日 2024年4月1日
 - ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年4月30日
- (9) テーマ事業「いのちを育む」総合監理業務 (河森 P) 2024年度
- ・ 契約の相手方 株式会社 Vector Vision
 - ・ 契約金額 386,267,000円 (税込)
 - ・ 契約日 2024年4月1日
 - ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日
- (10) テーマ事業「いのちをつむぐ」総合監理業務 (小山 P) 2024年度
- ・ 契約の相手方 株式会社 オレンジ・アンド・パートナーズ
 - ・ 契約金額 121,540,000円 (税込)
 - ・ 契約日 2024年4月1日
 - ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日
- (11) テーマ事業「いのちを拓げる」総合監理業務 (石黒 P) 2024年度
- ・ 契約の相手方 石黒 浩
 - ・ 契約金額 448,976,000円 (税込)
 - ・ 契約日 2024年4月1日
 - ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日
- (12) テーマ事業「いのちを高める」総合監理業務 (中島 P) 2024年度
- ・ 契約の相手方 株式会社 steAm
 - ・ 契約金額 201,096,000円 (税込)
 - ・ 契約日 2024年4月1日
 - ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日
- (13) テーマ事業「いのちを響き合わせる」総合監理業務 (宮田 P) 2024年度
- ・ 契約の相手方 一般社団法人 better Co-being
 - ・ 契約金額 267,484,000円 (税込)
 - ・ 契約日 2024年4月1日
 - ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日
- (14) 令和6年度2025年日本国際博覧会「日本政府館」広報・催事・バーチャルパビリオン企画制作等業務
- ・ 契約の相手方 大日本印刷株式会社
 - ・ 契約金額 612,533,567円 (税込)
 - ・ 契約日 2024年4月1日
 - ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日
- (15) 令和6年度2025年日本国際博覧会「日本政府館」コミュニケーション企画制作等業務
- ・ 契約の相手方 株式会社 日本デザインセンター
 - ・ 契約金額 147,180,000円 (税込)
 - ・ 契約日 2024年4月1日
 - ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日

(16) 令和6年度2025年日本国際博覧会「日本政府館」施設整備事業（バイオガス発電プラント設計・施工等

- ・ 契約の相手方 日立造船株式会社
- ・ 契約金額 324,799,200円（税込）
- ・ 契約日 2024年4月1日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日

(17) 令和6年度2025年日本国際博覧会「日本政府館」展示実施設計・運営実施計画等業務

- ・ 契約の相手方 日本館展示等コンソーシアム
- ・ 契約金額 6,005,288,916円（税込）
- ・ 契約日 2024年4月1日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日

(18) 令和6年度2025年日本国際博覧会「日本政府館」建築設計と一体的に行う建築展示支援・調整等業務

- ・ 契約の相手方 株式会社日建設計大阪オフィス
- ・ 契約金額 162,162,000円（税込）
- ・ 契約日 2024年4月1日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日

(19) Webサイトの制作・運用及びシステム構築・保守業務（概算契約）

- ・ 契約の相手方 株式会社電通
- ・ 契約金額 199,507,018円（税込）
- ・ 契約日 2024年4月1日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日

(20) テーマ事業「いのちを磨く」総合監理業務（落合P）2024年度

- ・ 契約の相手方 一般社団法人計算機と自然
- ・ 契約金額 834,675,600円（税込）
- ・ 契約日 2024年4月4日
- ・ 契約期間 2024年4月4日～2025年3月31日

(21) 2025年日本国際博覧会万博 ICT-PF サービス提供業務委託（変更契約）

- ・ 契約の相手方 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
- ・ 契約金額 3,182,012,421円（税込）
- ・ 変更金額（増額） 354,354,000円（税込）
- ・ 契約日 2024年4月4日
- ・ 契約期間 2022年11月22日～2025年12月31日

(22) 会場全体ランドスケープ等意図伝達業務（基本設計その4）

- ・ 契約の相手方 日建設計大阪オフィス
- ・ 契約金額 164,406,000円（税込）
- ・ 契約日 2024年4月9日
- ・ 契約期間 2024年4月9日～2025年3月22日

(23) 2025年日本国際博覧会 施設整備事業 テーマ館「いのちを響き合わせる」宮田P（建設工事）（変更契約）

- ・ 契約の相手方 大林組・総合設備コンサルタントグループ
 - ・ 契約金額 1, 596, 620, 886円 (税込)
 - ・ 変更金額 (増額) 125, 308, 030円 (税込)
 - ・ 契約日 2024年4月10日
 - ・ 契約期間 2023年11月30日～2024年10月31日
- (24) 2025年日本国際博覧会 プロジェクトマネジメント支援業務 (その5)
- ・ 契約の相手方 山下PMC・阪急コンストラクション・マネジメント株式会社共同企業体
 - ・ 契約金額 429, 110, 000円 (税込)
 - ・ 契約日 2024年4月10日
 - ・ 契約期間 2024年4月10日～2025年3月21日
- (25) 2025年日本国際博覧会万博交通情報システム検討及びサービス提供業務 (システム開発・改修) (変更契約)
- ・ 契約の相手方 株式会社日立製作所 関西支社
 - ・ 契約金額 919, 573, 600円 (税込)
 - ・ 変更金額 (増額) 259, 160, 000円 (税込)
 - ・ 契約日 2024年4月12日
 - ・ 契約期間 2023年10月20日～2025年12月31日
- (26) 2025年日本国際博覧会万博交通情報システム検討及びサービス提供業務 (経常型) (変更契約)
- ・ 契約の相手方 株式会社日立製作所 関西支社
 - ・ 契約金額 233, 508, 000円 (税込)
 - ・ 変更金額 (増額) 158, 367, 000円 (税込)
 - ・ 契約日 2024年4月12日
 - ・ 契約期間 2023年10月20日～2025年12月31日
- (27) 2025年日本国際博覧会 未来社会ショーケース事業 フューチャーライフ万博「未来の都市」運営及び広報・プロモーション業務
- ・ 契約の相手方 未来の都市推進共同企業体
 - ・ 契約金額 950, 038, 760円 (税込)
 - ・ 契約日 2024年4月16日
 - ・ 契約期間 2024年4月16日～2025年11月28日
- (28) 2025年日本国際博覧会施設整備事業 (PW西工区) A23 パビリオン (建設工事)
- ・ 契約の相手方 竹中工務店・南海辰村建設・竹中土木共同企業体・株式会社昭和設計
 - ・ 契約金額 510, 070, 000円 (税込)
 - ・ 契約日 2024年4月19日
 - ・ 契約期間 2024年4月19日～2024年12月31日
- (29) 2025年日本国際博覧会 無線利用調整業務 (その2)
- ・ 契約の相手方 株式会社NHK テクノロジーズ
 - ・ 契約金額 241, 450, 000円 (税込)
 - ・ 契約日 2024年4月24日
 - ・ 契約期間 2024年4月24日～2025年10月31日
- (30) 2025年日本国際博覧会 夢洲地区会場外清掃委託業務

- ・ 契約の相手方 2025年日本国際博覧会 夢洲地区会場外清掃共同企業体
- ・ 契約金額 129,547,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年4月25日
- ・ 契約期間 2024年4月25日～2025年11月30日

(31) 2025年日本国際博覧会 施設整備事業 GW工区(建設工事)(変更契約)

- ・ 契約の相手方 鹿島建設・飛鳥建設共同企業体
- ・ 契約金額 13,391,859,414円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 461,977,090円(税込)
- ・ 契約日 2024年4月30日
- ・ 契約期間 2023年7月31日～2025年2月28日

(32) 2025年日本国際博覧会前売チケット購入者対象くじ実施運営・PR業務委託

- ・ 契約の相手方 Jコミ・NTA共同企業体
- ・ 契約金額 109,860,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年4月30日
- ・ 契約期間 2024年4月30日～2024年12月31日

(33) 夢洲障がい者用駐車場用地の一時使用土地転貸借契約

- ・ 契約の相手方 株式会社大林組
- ・ 契約金額 106,519,850円(税込)
- ・ 契約日 2024年4月30日
- ・ 契約期間 2024年4月30日～2025年3月31日

(34) 2025年日本国際博覧会 医療救護施設運営業務

- ・ 契約の相手方 株式会社メディカル・コンシェルジュ
- ・ 契約金額 211,336,678円(税込)
- ・ 契約日 2024年5月7日
- ・ 契約期間 2024年5月7日～2026年1月23日

(35) 2025年日本国際博覧会 EVバス充電器設置等業務その2(充電器設備設置、高圧受変電設備設置及び配線等敷設)

- ・ 契約の相手方 スズカ電工株式会社
- ・ 契約金額 304,022,400円(税込)
- ・ 契約日 2024年5月10日
- ・ 契約期間 2024年5月10日～2026年3月31日

(36) 「2025年日本国際博覧会 施設整備事業(PW南東工区)」A17・B16パビリオン(建設工事)

- ・ 契約の相手方 清水・東急・村本・青木あすなろ共同企業体
- ・ 契約金額 457,666,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年5月13日
- ・ 契約期間 2024年5月13日～2024年10月31日

(37) 物品購買「屋外ファニチャーの購入(概算契約)」

- ・ 契約の相手方 株式会社コトブキ
- ・ 契約金額 438,570,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年5月16日

- ・ 契約期間 2024年5月16日～2025年2月28日
- (38) 2025年日本国際博覧会 スクリーニング機器賃貸借
- ・ 契約の相手方 総合警備保障株式会社
 - ・ 契約金額 810,700,000円(税込)
 - ・ 契約日 2024年5月20日
 - ・ 契約期間 2024年5月20日～2025年11月30日
- (39) 2025年日本国際博覧会 舞洲・桜島地区会場外清掃委託業務
- ・ 契約の相手方 株式会社FUD0corporation
 - ・ 契約金額 264,000,000円(税込)
 - ・ 契約日 2024年5月24日
 - ・ 契約期間 2024年5月24日～2025年11月30日
- (40) 2025年日本国際博覧会施設整備事業 PW北東工区(工事請負)(変更契約)
- ・ 契約の相手方 大林組・大鉄工業・TSUCHIYA共同企業体・株式会社安井建築設計事務所
 - ・ 契約金額 29,650,023,700円(税込)
 - ・ 変更金額(増額) 1,845,404,000円(税込)
 - ・ 契約日 2024年5月28日
 - ・ 契約期間 2023年4月21日～2025年2月28日
- (41) 2025年日本国際博覧会 舞洲地区会場外駐車場整備工事(その1)(変更契約)
- ・ 契約の相手方 前田道路株式会社
 - ・ 契約金額 1,362,471,000円(税込)
 - ・ 変更金額(増額) 390,871,800円(税込)
 - ・ 契約日 2024年5月29日
 - ・ 契約期間 2023年8月4日～2026年3月19日
- (42) 賓客接遇業務
- ・ 契約の相手方 2025年日本国際博覧会 賓客接遇業務 共同事業体(代表構成員:株式会社JTBグローバルマーケティング&トラベル)
 - ・ 契約金額 510,112,284円(税込)
 - ・ 契約日 2024年5月31日
 - ・ 契約期間 2024年5月31日～2025年10月31日
- (43) 2025年日本国際博覧会 会場施設等維持補修業務
- ・ 契約の相手方 2025年日本国際博覧会 会場施設等維持補修共同企業体
 - ・ 契約金額 1,166,989,120円(税込)
 - ・ 契約日 2024年6月5日
 - ・ 契約期間 2024年6月5日～2026年4月30日
- (44) 2025年日本国際博覧会施設整備事業 PW西工区(工事請負)(変更契約)
- ・ 契約の相手方 竹中工務店・南海辰村建設・竹中土木共同企業体・株式会社昭和設計
 - ・ 契約金額 28,405,179,000円(税込)
 - ・ 変更金額(増額) 1,060,400,000円(税込)
 - ・ 契約日 2024年6月7日
 - ・ 契約期間 2023年4月18日～2025年2月28日

(45) 大阪・関西万博メディアセンター内マスターコントロールルーム（整備業務）

- ・ 契約の相手方 株式会社NHKテクノロジーズ
- ・ 契約金額 216,104,032円（税込）
- ・ 契約日 2024年6月7日
- ・ 契約期間 2024年6月7日～2026年1月30日

(46) 大阪・関西万博メディアセンター内マスターコントロールルーム実施計画策定及び運営業務

- ・ 契約の相手方 株式会社NHKテクノロジーズ
- ・ 契約金額 222,795,968円（税込）
- ・ 契約日 2024年6月7日
- ・ 契約期間 2024年6月7日～2026年1月30日

(47) 2025年日本国際博覧会 施設整備事業（PW北東工区）A03（建設工事）

- ・ 契約の相手方 大林組・大鉄工業・TSUCHIYA 共同企業体・株式会社安井建築設計事務所
- ・ 契約金額 822,961,047円（税込）
- ・ 契約日 2024年6月12日
- ・ 契約期間 2024年6月12日～2025年1月31日

(48) 2025年日本国際博覧会 テーマウィーク全体運営事務局及びアジェンダ2025
主催プログラム実施業務

- ・ 契約の相手方 株式会社博報堂
- ・ 契約金額 676,082,660円（税込）
- ・ 契約日 2024年6月13日
- ・ 契約期間 2024年6月13日～2026年1月31日

(49) 2025年日本国際博覧会 廃棄物管理業務委託

- ・ 契約の相手方 日本通運株式会社
- ・ 契約金額 1,784,883,071円（税込）
- ・ 契約日 2024年6月14日
- ・ 契約期間 2024年6月14日～2025年10月31日

(50) 2025年日本国際博覧会 施設整備事業（休憩所他）トイレ5工事（建設工事）

- ・ 契約の相手方 株式会社西村工務店
- ・ 契約金額 158,092,000円（税込）
- ・ 契約日 2024年6月20日
- ・ 契約期間 2024年6月20日～2025年1月17日

(51) 2025年日本国際博覧会 施設整備事業 PW北東工区（工事請負）（変更契約）

- ・ 契約の相手方 大林組・大鉄工業・TSUCHIYA 共同企業体・株式会社安井建築設計事務所
- ・ 契約金額 29,851,446,900円（税込）
- ・ 変更金額（増額）201,423,200円（税込）
- ・ 契約日 2024年6月27日
- ・ 契約期間 2023年4月21日～2025年2月28日

(52) 2024年度途上国支援対象タイプC共同館CC館（仮称）の展示内外装施工及び運営準備業務

- ・ 契約の相手方 途上国支援対象タイプC共同館CC館（仮称）共同事業体

- ・ 契約金額 1, 053, 800, 000円 (税込)
- ・ 契約日 2024年6月28日
- ・ 契約期間 2024年6月28日～2025年3月31日

(53) 2024年度途上国支援対象タイプC共同館CE館(仮称)の展示内外装施工及び運営準備業務

- ・ 契約の相手方 途上国支援対象タイプC共同館CE館(仮称)共同事業体
- ・ 契約金額 1, 278, 200, 000円 (税込)
- ・ 契約日 2024年6月28日
- ・ 契約期間 2024年6月28日～2025年3月31日

(54) 2024年度途上国支援対象タイプC共同館CS-1館(仮称)の展示内外装施工及び運営準備業務

- ・ 契約の相手方 途上国支援対象タイプC共同館CS-1館(仮称)共同事業体
- ・ 契約金額 1, 128, 600, 000円 (税込)
- ・ 契約日 2024年6月28日
- ・ 契約期間 2024年6月28日～2025年3月31日

(55) 2025年日本国際博覧会 夢洲第1交通ターミナル運行情報サイネージ等管理システムサービス提供業務(システム開発)(変更契約)

- ・ 契約の相手方 東京センチュリー・パナソニックコネクト・WillSmart・都築電気コンソーシアム
- ・ 契約金額 656, 965, 124円 (税込)
- ・ 変更金額(増額) 175, 690, 471円 (税込)
- ・ 契約日 2024年7月1日
- ・ 契約期間 2023年12月28日～2025年12月31日

(56) 2025年日本国際博覧会会場で使用するカーボンニュートラルガス調達業務(単価契約)

- ・ 契約の相手方 大阪瓦斯株式会社
- ・ 契約金額 168, 096, 470円 (税込)
- ・ 契約日 2024年7月8日
- ・ 契約期間 2024年9月1日～2025年12月31日

(57) 2025年日本国際博覧会 夢洲地区交通ターミナル等整備工事(変更契約)

- ・ 契約の相手方 大成ロテック(株)・昭和(株)グループ
- ・ 契約金額 2, 716, 087, 000円 (税込)
- ・ 変更金額(増額) 225, 137, 000円 (税込)
- ・ 契約日 2024年7月16日
- ・ 契約期間 2023年8月3日～2026年3月19日

(58) 2025年日本国際博覧会 ゲート前後・バックヤードサイン制作・設置等業務

- ・ 契約の相手方 TOPPAN株式会社
- ・ 契約金額 207, 900, 000円 (税込)
- ・ 契約日 2024年7月19日
- ・ 契約期間 2024年7月19日～2025年11月30日

(59) 国旗等の製作及び運営業務

- ・ 契約の相手方 株式会社アテナ
- ・ 契約金額 134,060,289円(税込)
- ・ 契約日 2024年7月25日
- ・ 契約期間 2024年7月25日～2025年10月17日

(60) OOH等による入場チケット広報・プロモーション業務(2024年度)契約

- ・ 契約の相手方 Jコミ・jekki・JTA 共同企業体
- ・ 契約金額 224,938,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年7月26日
- ・ 契約期間 2024年7月26日～2025年3月31日

(61) 2025年日本国際博覧会 夢洲地区交通ターミナル及び舞洲地区会場外駐車場等建築物の賃貸借(変更契約)

- ・ 契約の相手方 大和リース株式会社
- ・ 契約金額 1,855,370,000円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 386,870,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年7月29日
- ・ 契約期間 2023年11月10日～2026年1月31日

(62) 2025年日本国際博覧会 大屋根リング屋上緑化維持管理等業務

- ・ 契約の相手方 大和リース株式会社
- ・ 契約金額 429,000,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年7月29日
- ・ 契約期間 2024年7月29日～2025年11月28日

(63) 2025年日本国際博覧会 施設整備事業 PW南東工区(工事請負)(変更契約)

- ・ 契約の相手方 清水・東急・村本・青木あすなろ共同企業体
- ・ 契約金額 25,706,736,000円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 2,042,906,800円(税込)
- ・ 契約日 2024年7月31日
- ・ 契約期間 2023年4月19日～2025年2月28日

(64) 2025年日本国際博覧会 施設整備事業テーマ館「いのちを高める」中島P(付属工事)

- ・ 契約の相手方 フジタ・デザインアーク特定建設共同企業体(代表構成員:株式会社フジタ大阪支店)
- ・ 契約金額 329,670,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年7月31日
- ・ 契約期間 2024年8月1日～2025年2月28日

(65) 情報通信インフラ整備業務(基本契約)(変更契約)

- ・ 契約の相手方 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
- ・ 契約金額 2,951,534,905円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 242,787,479円(税込)
- ・ 契約日 2024年7月31日
- ・ 契約期間 2023年2月2日～2026年3月31日

(66) 2025年日本国際博覧会施設整備事業サイン工事

- ・ 契約の相手方 株式会社ノムラークス
- ・ 契約金額 362,721,344円(税込)
- ・ 契約日 2024年8月1日
- ・ 契約期間 2024年8月1日～2025年4月10日

(67) 会場内(①東エリア、北エリア及び南東エリア)清掃業務

- ・ 契約の相手方 2025年日本国際博覧会 会場内清掃共同企業体
- ・ 契約金額 1,076,335,229円(税込)
- ・ 契約日 2024年8月1日
- ・ 契約期間 2024年8月1日～2025年10月31日

(68) 会場内(②西エリア及び南エリア)清掃業務

- ・ 契約の相手方 2025年日本国際博覧会 会場内清掃共同企業体
- ・ 契約金額 808,074,237円(税込)
- ・ 契約日 2024年8月1日
- ・ 契約期間 2024年8月1日～2025年10月31日

(69) 2025年日本国際博覧会 未来社会ショーケース事業 フューチャーライフ万博「未来の都市」共通展示等工事(展示等工事)

- ・ 契約の相手方 株式会社日展
- ・ 契約金額 556,789,200円(税込)
- ・ 契約日 2024年8月6日
- ・ 契約期間 2024年8月6日～2025年12月31日

(70) 2025年日本国際博覧会 会場外駐車場周辺道路等改良工事

- ・ 契約の相手方 株式会社NIPPO関西支店
- ・ 契約金額 152,504,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年8月8日
- ・ 契約期間 2024年8月8日～2026年2月27日

(71) 2025年日本国際博覧会 サイバーセキュリティ運用業務

- ・ 契約の相手方 日本サイバーディフェンス株式会社
- ・ 契約金額 107,800,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年8月8日
- ・ 契約期間 2024年8月8日～2025年12月31日

(72) 2025年日本国際博覧会 タイプC共同館(国際機関共同館・CS2館)共用部等整備業務

- ・ 契約の相手方 博報堂プロダクツ・日展共同企業体(代表構成員:株式会社博報堂プロダクツ)
- ・ 契約金額 133,838,100円(税込)
- ・ 契約日 2024年8月14日
- ・ 契約期間 2024年8月14日～2025年11月30日

(73) 途上国支援PR施策

- ・ 契約の相手方 途上国支援対象国のPR施策業務共同企業体
- ・ 契約金額 704,274,120円(税込)
- ・ 契約日 2024年8月20日

- ・ 契約期間 2024年8月20日～2025年3月31日
- (74) 大阪・関西万博の入場チケット販売促進等のための広報・プロモーション業務
- ・ 契約の相手方 大阪・関西万博の入場チケット販売促進等のための広報・プロモーション業務 EXP02025 共同企業体（代表構成員：株式会社電通）
 - ・ 契約金額 1,051,600,000円（税込）
 - ・ 契約日 2024年8月23日
 - ・ 契約期間 2024年8月23日～2025年10月31日
- (75) 2025年日本国際博覧会施設整備事業（PW北東工区）A48パビリオン（建設工事）
変更契約（1回目）（変更契約）
- ・ 契約の相手方 大林組・大鉄工業・TSUCHIYA共同企業体・株式会社安井建築設計事務所
 - ・ 契約金額 606,757,803円（税込）
 - ・ 変更金額（増額） 191,947,803円（税込）
 - ・ 契約日 2024年8月26日
 - ・ 契約期間 2024年4月1日～2024年11月30日
- (76) 2025年日本国際博覧会 電気供給施設運用等委託業務（変更契約③）
- ・ 契約の相手方 関西電力送配電株式会社 株式会社きんでん 株式会社ダイヘン電力供給グループ
 - ・ 契約金額 8,937,858,046円（税込）
 - ・ 契約金額 125,973,646円（税込）
 - ・ 契約日 2024年8月30日
 - ・ 契約期間 2022年9月7日～2026年12月31日
- (77) 「静けさの森インスタレーション」における運営支援業務及び総合監理・製作業務
（B：運営支援及び総合監理業務及び製作業務）
- ・ 契約の相手方 静けさの森インスタレーションパートナーズ共同企業体（代表構成員：株式会社博報堂プロダクツ）
 - ・ 契約金額 413,600,000円（税込）
 - ・ 契約日 2024年9月1日
 - ・ 契約期間 2024年9月1日～2026年1月31日
- (78) 途上国支援対象タイプB館運営準備業務
- ・ 契約の相手方 途上国支援対象タイプB館運営準備業務共同企業体（代表構成員：株式会社ADKマーケティング・ソリューションズ）
 - ・ 契約金額 134,860,000円（税込）
 - ・ 契約日 2024年9月10日
 - ・ 契約期間 2024年9月10日～2025年3月31日
- (79) メディアセンター関連業務（整備業務）

- ・ 契約の相手方 村本建設・SUO・平岩構造・総合設備グループ
- ・ 契約金額 1, 266, 825, 000円 (税込)
- ・ 変更金額 (増額) 903, 171, 600円 (税込)
- ・ 契約日 2024年9月12日
- ・ 契約期間 2023年12月8日～2024年12月28日

(85) 2025年日本国際博覧会施設整備事業GW工区 (建設工事) (変更契約)

- ・ 契約の相手方 鹿島建設・飛鳥建設共同企業体
- ・ 契約金額 13, 537, 873, 819円 (税込)
- ・ 変更金額 (増額) 146, 014, 405円 (税込)
- ・ 契約日 2024年9月19日
- ・ 契約期間 2023年7月31日～2025年2月28日

(86) 2025年日本国際博覧会施設整備事業GW工区 (解体撤去) (変更契約)

- ・ 契約の相手方 鹿島建設・飛鳥建設共同企業体
- ・ 契約金額 766, 089, 267円 (税込)
- ・ 変更金額 (増額) 116, 365, 793円 (税込)
- ・ 契約日 2024年9月19日
- ・ 契約期間 2025年10月20日～2027年2月28日

(87) 2025年日本国際博覧会 一般廃棄物収集運搬業務 (概算契約)

- ・ 契約の相手方 大阪市清掃連合協同組合
- ・ 契約金額 171, 771, 820円 (税込)
- ・ 契約日 2024年9月20日
- ・ 契約期間 2024年9月20日～2025年10月31日

(88) 2025年日本国際博覧会会場で使用する非化石電気調達業務 (2025年度) (単価契約)

- ・ 契約の相手方 関西電力株式会社
- ・ 契約金額 1, 157, 363, 442円 (税込)
- ・ 契約日 (覚書締結) 2024年9月25日
- ・ 契約期間 2025年4月1日～2026年3月31日

(89) 2025年日本国際博覧会静けさの森北西営業施設インフラ及び舗装整備等工事 (インフラ工事)

- ・ 契約の相手方 株式会社オノコム

- ・ 契約金額 114,400,000円（税込）
- ・ 契約日 2024年9月27日
- ・ 契約期間 2024年9月27日～2025年3月20日

(90) ICT-PF 構築における2024年10月～2025年3月の外部人員の派遣契約

- ・ 契約の相手方 アクセンチュア株式会社
- ・ 契約金額 136,204,200円（税込）
- ・ 契約日 2024年9月30日
- ・ 契約期間 2024年10月1日～2025年3月31日

(91) 2025年日本国際博覧会 サステナードーム実施製作・運営管理業務（C 工事及び展示業務）

- ・ 契約の相手方 大日本印刷株式会社
- ・ 契約金額 118,800,000円（税込）
- ・ 契約日 2024年9月30日
- ・ 契約期間 2024年10月1日～2026年3月31日

(92) 協会事務室使用に係る府有財産貸付契約

- ・ 契約の相手方 大阪府
- ・ 契約金額 113,893,440円（税込）
- ・ 契約日 2024年9月30日
- ・ 契約期間 2025年4月1日～2026年3月31日

(93) 大阪・関西万博メディアプラン業務契約

- ・ 契約の相手方 株式会社電通
- ・ 契約金額 599,981,003円（税込）
- ・ 契約日 2024年10月2日
- ・ 契約期間 2024年10月2日～2025年7月31日

(94) 2025年日本国際博覧会 備蓄品調達回収業務

- ・ 契約の相手方 株式会社ミヨシ
- ・ 契約金額 211,098,110円（税込）
- ・ 契約日 2024年10月4日
- ・ 契約期間 2024年10月4日～2026年3月31日

(95) 2025年日本国際博覧会 主催者催事（One World, One Planet）に関わる実施計画

策定及び管理運営業務（①実施計画作成業務）

- ・ 契約の相手方 株式会社博報堂プロダクツ関西支社
- ・ 契約金額 112,420,000円（税込）
- ・ 契約日 2024年10月4日
- ・ 契約期間 2024年10月4日～2024年11月13日

(96) 2025年日本国際博覧会 テーマウィークスタジオ内装工事

- ・ 契約の相手方 TOPPAN株式会社
- ・ 契約金額 181,500,000円（税込）
- ・ 契約日 2024年10月15日
- ・ 契約期間 2024年10月15日～2025年12月28日

(97) 2025年日本国際博覧会 救護隊運用業務

- ・ 契約の相手方 株式会社メディカル・コンシェルジュ
- ・ 契約金額 104,080,674円（税込）
- ・ 契約日 2024年10月16日
- ・ 契約期間 2024年10月16日～2025年11月13日

(98) 2025年日本国際博覧会施設整備事業GW工区（建設工事）（変更契約）

- ・ 契約の相手方 鹿島建設・飛鳥建設共同企業体
- ・ 契約金額 15,485,809,699円（税込）
- ・ 変更金額（増額）1,947,935,880円（税込）
- ・ 契約日 2024年10月17日
- ・ 契約期間 2023年7月31日～2025年2月28日

(99) タイプC 共同館（ commons-E・ commons-F）共用部のパビリオン内外装等整備、管理

- ・ 契約の相手方 博報堂プロダクツ・日展共同企業体（代表者構成員：株式会社博報堂プロダクツ）
- ・ 契約金額 195,082,448円（税込）
- ・ 契約日 2024年10月17日
- ・ 契約期間 2024年10月17日～2025年11月30日

(100) 2025年日本国際博覧会 宅配便セキュリティセンター（会場外施設）運営業務

- ・ 契約の相手方 日本通運株式会社
- ・ 契約金額 116,133,322円（税込）

- ・ 契約日 2024年10月22日
- ・ 契約期間 2025年3月1日～2025年10月31日

(101) 2025年日本国際博覧会 来場者サービス実施計画策定・実施運営業務委託
(変更契約)

- ・ 契約の相手方 TSP太陽・TOPPAN共同企業体
- ・ 契約金額 6,290,385,008円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 440,111,107円(税込)
- ・ 契約日 2024年10月22日
- ・ 契約期間 2024年1月9日～2025年12月22日

(102) 2025年日本国際博覧会入場券販売関連システムサービス提供業務委託(変更契約)

- ・ 契約の相手方 ぴあ・GF・JCD共同企業体
- ・ 契約金額 3,895,851,600円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 768,896,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年10月22日
- ・ 契約期間 2022年5月20日～2025年12月31日

(103) 2025年日本国際博覧会 舞洲地区会場外駐車場整備工事(その2)(変更契約)

- ・ 契約の相手方 大成ロテック株式会社・昭和株式会社グループ
- ・ 契約金額 911,614,000円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 345,114,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年10月22日
- ・ 契約期間 2023年8月3日～2026年3月19日

(104) 2025年日本国際博覧会 団体休憩所設置工事等業務(建設工事・計画策定等業務・
設備什器等設置・維持管理業務・解体撤去工事)

- ・ 契約の相手方 TSP太陽株式会社
- ・ 契約金額 582,241,440円(税込)
- ・ 契約日 2024年10月30日
- ・ 契約期間 2024年10月30日～2025年11月13日

(105) 2025年日本国際博覧会 開会式並びに主催者催事(Physical Twin Symphony)の
実施計画作成及び運営業務

- ・ 契約の相手方 株式会社電通・株式会社電通ライブ・株式会社NHKエンタープライズ共

同企業体（代表構成員：株式会社電通ライブ）

- ・ 契約金額 886,620,900円（税込）
- ・ 契約日 2024年11月1日
- ・ 契約期間 2024年11月1日～2025年5月30日

(106) 2025年日本国際博覧会夢洲地区交通ターミナル及び舞洲地区会場外駐車場等建築物の賃貸借(変更契約)

- ・ 契約の相手方 大和リース株式会社
- ・ 契約金額 2,081,530,000円（税込）
- ・ 変更金額（増額）226,160,000円（税込）
- ・ 契約日 2024年11月11日
- ・ 契約期間 2023年11月10日～2026年1月31日

(107) 物品調達「大型パラソルのレンタル」（その2）

- ・ 契約の相手方 コーユーレンティア株式会社
- ・ 契約金額 104,170,000円（税込）
- ・ 契約日 2024年11月12日
- ・ 契約期間 2024年11月12日～2025年10月31日

(108) 令和5年度2025年日本国際博覧会「日本政府館」展示実施設計・運営実施計画等業務（変更契約）

- ・ 契約の相手方 日本館展示等コンソーシアム
- ・ 契約金額 1,776,893,995円（税込）
- ・ 変更金額（増額）243,185,995円（税込）
- ・ 契約日 2024年11月15日
- ・ 契約期間 2024年3月29日～2025年3月31日

(109) 2025年日本国際博覧会 休憩/催事施設 内外装設備工事等及び運営管理業務（基本契約）

- ・ 契約の相手方 株式会社博報堂プロダクツ関西支社
- ・ 契約金額 993,058,356円（税込）
- ・ 契約日 2024年11月15日
- ・ 契約期間 2024年11月15日～2025年12月31日

(110) 2025年日本国際博覧会施設整備事業PW南東工区（工事請負）（変更契約）

- ・ 契約の相手方 清水・東急・村本・青木あすなろ共同企業体

- ・ 契約金額 25,998,021,500円 (税込)
- ・ 変更金額 (増額) 192,245,900円 (税込)
- ・ 契約日 2024年11月15日
- ・ 契約期間 2023年4月19日～2025年2月28日

(111) 2025年日本国際博覧会 休憩/催事施設 内外装設備工事等及び運営管理業務 (Eグループ) (管轄施設の内外装設備工事等業務)

- ・ 契約の相手方 株式会社博報堂プロダクツ 関西支社
- ・ 契約金額 607,624,956円 (税込)
- ・ 契約日 2024年11月21日
- ・ 契約期間 2024年11月21日～2025年12月31日

(112) 2025年日本国際博覧会 主催者催事 (One World, One Planet) に関わる実施設計策定及び管理運営業務 (②管理運営業務)

- ・ 契約の相手方 株式会社博報堂プロダクツ関西支社
- ・ 契約金額 237,561,500円 (税込)
- ・ 契約日 2024年11月22日
- ・ 契約期間 2024年11月22日～2025年10月31日

(113) テーマ事業「いのちの輝きプロジェクト」ユニット1『いのちを知る』『いのちを育む』実施製作統括管理業務 2024年度委託料 (変更①)

- ・ 契約の相手方 株式会社博報堂
- ・ 契約金額 1,476,123,200円 (税込)
- ・ 変更金額 (増額) 103,444,470円 (税込)
- ・ 契約日 2024年11月22日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日

(114) テーマ事業「いのちの輝きプロジェクト」ユニット3『いのちを拡げる』『いのちを響き合わせる』実施製作統括管理業務 2025年度委託料 (変更契約)

- ・ 契約の相手方 株式会社電通・株式会社電通ライブ共同企業体
- ・ 契約金額 2,195,313,051円 (税込)
- ・ 変更金額 (増額) 125,204,956円 (税込)
- ・ 契約日 2024年11月22日
- ・ 契約期間 2024年4月1日～2025年3月31日

(115) 2025年日本国際博覧会 改札室実施計画策定・実施運営業務委託

- ・ 契約の相手方 株式会社ステージ
- ・ 契約金額 185,889,000円 (税込)
- ・ 契約日 2024年11月25日
- ・ 契約期間 2024年11月25日～2025年10月31日

(116) 2025年日本国際博覧会 スクリーニング機器賃貸借 (変更契約)

- ・ 契約の相手方 総合警備保障株式会社
- ・ 契約金額 1,051,824,730円 (税込)
- ・ 変更金額 (増額) 244,442,000円 (税込)
- ・ 契約日 2024年11月26日
- ・ 契約期間 2024年5月20日～2025年11月30日

(117) バーチャル万博コンテンツ制作・運営管理業務

- ・ 契約の相手方 株式会社 JTB コミュニケーションデザイン
- ・ 契約金額 441,672,000円 (税込)
- ・ 契約日 2024年11月27日
- ・ 契約期間 2024年11月27日～2025年12月31日

(118) 2025年日本国際博覧会 関係者入場証発行・入退場管理システム構築等業務
(入退場管理システム構築業務) (変更契約)

- ・ 契約の相手方 大日本印刷株式会社・パナソニック コネクト株式会社コンソーシアム
- ・ 契約金額 647,931,988円 (税込)
- ・ 変更金額 (増額) 123,911,348円 (税込)
- ・ 契約日 2024年11月29日
- ・ 契約期間 2023年10月23日～2025年12月31日

(119) 2025年日本国際博覧会 施設整備事業 PW西工区 (工事請負) (変更契約)

- ・ 契約の相手方 竹中工務店・南海辰村建設・竹中土木共同企業体・株式会社昭和設計
- ・ 契約金額 29,524,893,700円 (税込)
- ・ 変更金額 (増額) 1,119,714,700円 (税込)
- ・ 契約日 2024年11月29日
- ・ 契約期間 2023年4月18日～2025年2月28日

(120) 2025年日本国際博覧会 EXPO サロン内装工事及び運営管理業務
(EXPO サロンの空間計画及び内装設備工事等業務)

- ・ 契約の相手方 TOPPAN・コンベンションリンケージ共同企業体

- ・ 契約金額 189,271,972円 (税込)
- ・ 契約日 2024年12月3日
- ・ 契約期間 2024年12月3日～2025年12月13日

(121) 2025年日本国際博覧会 ゲート前チケット引換所実施計画策定・実施運営業務

- ・ 契約の相手方 株式会社ステージ
- ・ 契約金額 267,807,760円 (税込)
- ・ 契約日 2024年12月6日
- ・ 契約期間 2024年12月6日～2025年10月31日

(122) 2025年日本国際博覧会尼崎地区会場外駐車場整備工事(変更契約)

- ・ 契約の相手方 大成ロテック(株)・扇コンサルタンツ(株)グループ
- ・ 契約金額 829,290,000円 (税込)
- ・ 変更金額(増額) 162,360,000円 (税込)
- ・ 契約日 2024年12月6日
- ・ 契約期間 2023年8月3日～2026年3月19日

(123) 2025年日本国際博覧会スマートモビリティ万博「会場内パーソナルモビリティ」
運営に係る日施計画策定、運営実施業務

- ・ 契約の相手方 TSP太陽株式会社
- ・ 契約金額 259,858,607円 (税込)
- ・ 契約日 2024年12月11日
- ・ 契約期間 2024年12月11日～2025年12月31日

(124) 2025年日本国際博覧会 催事施設(屋外イベント広場)運営管理業務(Cグループ)
運営体制構築等業務 個別契約(変更契約)

- ・ 契約の相手方 博報堂プロダクツ・TOPPAN共同企業体
- ・ 契約金額 221,236,907円 (税込)
- ・ 変更金額(増額) 121,411,907円 (税込)
- ・ 契約日 2024年12月11日
- ・ 契約期間 2024年1月16日～2025年11月30日

(125) 大阪・関西万博メディアプラン業務契約(変更契約)

- ・ 契約の相手方 株式会社電通
- ・ 契約金額 1,178,581,003円 (税込)
- ・ 変更金額(増額) 578,600,000円 (税込)

- ・ 契約日 2024年12月16日
- ・ 契約期間 2024年10月2日～2025年7月31日

(126) 子ども向け案内サイン制作・設置等業務

- ・ 契約の相手方 大日本印刷株式会社
- ・ 契約金額 202,400,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年12月18日
- ・ 契約期間 2024年12月18日～2025年12月31日

(127) 2025年日本国際博覧会来場者輸送に係る交通運営本部体制運営業務委託(変更契約)

- ・ 契約の相手方 東武トップツアーズ 阪急交通社共同企業体
- ・ 契約金額 1,593,702,589円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 528,232,374円(税込)
- ・ 契約日 2024年12月20日
- ・ 契約期間 2024年2月6日～2025年10月31日

(128) 大阪・関西万博の入場チケット販売促進等のための広報・プロモーション業務(変更契約)

- ・ 契約の相手方 大阪・関西万博の入場チケット販売促進等のための広報・プロモーション業務 EXP02025 共同企業体(代表構成員:株式会社電通)
- ・ 契約金額 1,392,600,000円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 341,000,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年12月20日
- ・ 契約期間 2024年8月23日～2025年10月31日

(129) 2025年日本国際博覧会 警備隊資材等賃貸借(その2)

- ・ 契約の相手方 株式会社デザインアーク 大阪本店
- ・ 契約金額 120,450,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年12月23日
- ・ 契約期間 2024年12月23日～2025年11月30日

(130) 2025年日本国際博覧会万博 ICT-PF サービス提供業務委託(変更契約)

- ・ 契約の相手方 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
- ・ 契約金額 3,359,332,421円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 177,320,000円(税込)

- ・ 契約日 2024年12月24日
- ・ 契約期間 2022年11月22日～2025年12月31日

(131) 2025年日本国際博覧会夢洲地区交通ターミナル及び舞洲地区会場外駐車場等建築物の賃貸借

- ・ 契約の相手方 大和リース株式会社
- ・ 契約金額 2,406,580,000円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 325,050,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年12月24日
- ・ 契約期間 2023年11月10日～2026年1月31日

(132) 2025年日本国際博覧会廃棄物収集運搬業務委託(段ボール・その他産業廃棄物)(概算契約)

- ・ 契約の相手方 日本通運株式会社
- ・ 契約金額 963,111,600円(税込)
- ・ 契約日 2024年12月25日
- ・ 契約期間 2024年12月25日～2025年10月31日

(133) 2025年日本国際博覧会夢洲地区交通ターミナル等整備工事(変更契約)

- ・ 契約の相手方 大成ロテック(株)・昭和(株)グループ
- ・ 契約金額 3,491,807,000円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 775,720,000円(税込)
- ・ 契約日 2024年12月25日
- ・ 契約期間 2023年8月3日～2026年3月19日

(134) 2025年日本国際博覧会尼崎会場外(パーク&ライド)駐車場シャトルバス運行業務(変更契約)

- ・ 契約の相手方 東武トップツアーズ 阪急交通社共同企業体
- ・ 契約金額 3,520,763,400円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 1,022,465,400円(税込)
- ・ 契約日 2024年12月26日
- ・ 契約期間 2023年9月14日～2025年10月31日

(135) 2025年日本国際博覧会堺会場外(パーク&ライド)駐車場シャトルバス運行業務(変更契約)

- ・ 契約の相手方 東武トップツアーズ 阪急交通社共同企業体

- ・ 契約金額 2, 835, 489, 184円 (税込)
- ・ 変更金額 (増額) 571, 878, 384円 (税込)
- ・ 契約日 2024年12月26日
- ・ 契約期間 2023年9月14日～2025年10月31日

(136) 2025年日本国際博覧会 主催者催事 (One World, One Planet) に係る実施設計策
定及び管理運営業務 (②管理運営業務) (変更契約)

- ・ 契約の相手方 株式会社博報堂プロダクツ関西支社
- ・ 契約金額 580, 030, 000円 (税込)
- ・ 変更金額 (増額) 342, 468, 500円 (税込)
- ・ 契約日 2024年12月27日
- ・ 契約期間 2024年11月22日～2025年10月31日

(137) 物品購買「屋外ファニチャーの購入」(変更契約)

- ・ 契約の相手方 株式会社コトブキ
- ・ 契約金額 585, 071, 740円 (税込)
- ・ 変更金額 (増額) 125, 431, 240円 (税込)
- ・ 契約日 2024年12月27日
- ・ 契約期間 2024年5月16日～2025年5月30日

(138) 2025年日本国際博覧会 マルビル大阪・関西万博バスターミナルの運営に関する
業務委託

- ・ 契約の相手方 東武トップツアーズ 阪急交通社 共同企業体 (代表構成員: 東武トップ
ツアーズ株式会社)
- ・ 契約金額 193, 577, 769円 (税込)
- ・ 契約日 2025年1月7日
- ・ 契約期間 2025年1月7日～2025年10月31日

(139) 2025年日本国際博覧会 催事施設用備品賃貸借

- ・ 契約の相手方 コーユーレンティア株式会社
- ・ 契約金額 135, 300, 000円 (税込)
- ・ 契約日 2025年1月8日
- ・ 契約期間 2025年1月8日～2025年11月28日

(140) 2025年日本国際博覧会 来場者サービス実施計画策定・実施運営業務委託
(変更契約)

- ・ 契約の相手方 TSP太陽・TOPPAN共同企業体
- ・ 契約金額 6,645,908,352円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 355,523,344円(税込)
- ・ 契約日 2025年1月10日
- ・ 契約期間 2024年1月9日～2025年12月22日

(141) 2025年日本国際博覧会 ゲート前後・バックヤードサイン制作・設置等業務
(変更契約)

- ・ 契約の相手方 TOPPAN株式会社
- ・ 契約金額 407,097,680円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 199,197,680円(税込)
- ・ 契約日 2025年1月10日
- ・ 契約期間 2024年7月19日～2025年11月30日

(142) 2025年日本国際博覧会 全催事施設統括管理業務及び催事施設(大催事・小催事・
小規模ステージ)運営管理業務(Aグループ)(運営体制構築等業務)(変更契約)

- ・ 契約の相手方 (株)電通ライブ・(株)JTBコミュニケーションデザイン共同企業体
- ・ 契約金額 608,879,024円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 122,096,024円(税込)
- ・ 契約日 2025年1月10日
- ・ 契約期間 2024年2月1日～2025年11月30日

(143) 2025年日本国際博覧会施設整備事業PW西工区(工事請負)(変更契約)

- ・ 契約の相手方 竹中工務店・南海辰村建設・竹中土木共同企業体・株式会社昭和設計
- ・ 契約金額 30,131,983,700円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 607,090,000円(税込)
- ・ 契約日 2025年1月17日
- ・ 契約期間 2023年4月18日～2025年2月28日

(144) 2025年日本国際博覧会施設整備事業 テーマ館「いのちを守る」河瀬P(建設工
事)(変更契約)

- ・ 契約の相手方 村本建設・SUO・平岩構造・総合設備グループ
- ・ 契約金額 1,389,585,000円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 122,760,000円(税込)
- ・ 契約日 2025年1月21日
- ・ 契約期間 2023年12月8日～2025年4月10日

(145) タイプC 共同館(国際機関館・commons-C・commons-E・commons-F) 運営管理業務

- ・契約の相手方 タイプC 共同館運営管理業務共同企業体(代表構成員:株式会社大広)
- ・契約金額 281,477,024円(税込)
- ・契約日 2025年1月21日
- ・契約期間 2025年1月21日~2025年11月30日

(146) 会場外施設等で使用する電気受給契約サービス

- ・契約の相手方 ミツウロコグリーンエネルギー株式会社
- ・契約金額 116,142,052円(税込)
- ・契約日 2025年1月22日
- ・契約期間 2025年1月22日~2025年10月31日

(147) 2025年日本国際博覧会施設整備事業PW北東工区(工事請負)(変更契約)

- ・契約の相手方 大林組・大鉄工業・TSUCHIYA 共同企業体・株式会社安井建築設計事務所
- ・契約金額 32,035,983,100円(税込)
- ・変更金額(増額) 999,006,800円(税込)
- ・契約日 2025年1月22日
- ・契約期間 2023年4月21日~2025年2月28日

(148) 2025年日本国際博覧会 施設整備事業 大催事場(建設工事)(変更契約)

- ・契約の相手方 大成建設株式会社・株式会社昭和設計
- ・契約金額 8,445,391,100円(税込)
- ・変更金額(増額) 225,610,000円(税込)
- ・契約日 2025年1月24日
- ・契約期間 2023年12月1日~2025年2月28日

(149) 大阪市営住宅にかかる賃貸借契約

- ・契約の相手方 大阪市
- ・契約金額 186,950,700円(税込)
- ・契約日 2025年1月29日
- ・契約期間 2025年2月1日~2025年11月30日

(150) 2025年日本国際博覧会 スクリーニング機器賃貸借(変更契約)

- ・契約の相手方 総合警備保障株式会社
- ・契約金額 1,170,395,930円(税込)

- ・変更金額（増額） 118,571,200円（税込）
- ・契約日 2025年1月30日
- ・契約期間 2024年5月20日～2025年11月30日

(151) 2025年日本国際博覧会 施設整備事業 小催事場（建設工事）（変更契約）

- ・契約の相手方 鴻池・安井・平田晃久グループ
- ・契約金額 4,605,533,890円（税込）
- ・変更金額（増額） 326,349,100円（税込）
- ・契約日 2025年1月31日
- ・契約期間 2023年10月16日～2025年3月7日

(152) 2025年日本国際博覧会 会場外駐車場及びバスターミナル入退場予約・決済システムサービス 業務A（変更契約）

- ・契約の相手方 タイムズ共同企業体
- ・契約金額 725,575,000円（税込）
- ・変更金額（増額） 105,600,000円（税込）
- ・契約日 2025年2月7日
- ・契約期間 2024年7月22日～2025年3月31日

(153) ICTシステム運用保守支援業務

- ・契約の相手方 株式会社CSC
- ・契約金額 104,720,000円（税込）
- ・契約日 2025年2月10日
- ・契約期間 2025年2月17日～2025年10月31日

(154) 令和5年度補正大阪・関西万博安全確保事業（変更契約）（受託契約）

- ・契約の相手方 経済産業省
- ・契約金額 25,457,694,920円（税込）
- ・変更金額（増額） 5,548,786,921円（税込）
- ・契約日 2025年2月13日
- ・契約期間 2024年1月22日～2026年1月30日

(155) 2025年日本国際博覧会 BE8 施設「ロボット&モビリティステーション」内外装設備工事等業務

- ・契約の相手方 株式会社電通ライブ
- ・契約金額 103,462,865円（税込）

- ・ 契約日 2025年2月14日
- ・ 契約期間 2025年2月14日～2025年12月31日

(156) 2025年日本国際博覧会 施設警備実施業務（変更契約）

- ・ 契約の相手方 総合警備保障株式会社
- ・ 契約金額 6,869,450,431円（税込）
- ・ 変更金額（増額）2,524,450,431円（税込）
- ・ 契約日 2025年2月14日
- ・ 契約期間 2024年2月1日～2025年11月30日

(157) 2025年日本国際博覧会 Signature Music Fes（仮称）イベント企画・運營業務

- ・ 契約の相手方 ひあ株式会社
- ・ 契約金額 148,566,000円（税込）
- ・ 契約日 2025年2月17日
- ・ 契約期間 2025年2月17日～2025年8月31日

(158) 2025年日本国際博覧会 施設整備事業 PW北東工区（工事請負）（変更契約）

- ・ 契約の相手方 大林組・大鉄工業・TSUCHIYA 共同企業体・株式会社安井建築設計事務所
- ・ 契約金額 32,606,143,900円（税込）
- ・ 変更金額（増額）511,912,500円（税込）
- ・ 契約日 2025年2月21日
- ・ 契約期間 2023年4月21日～2025年3月31日

(159) 2025年日本国際博覧会 車両管理運用業務

- ・ 契約の相手方 日本通運株式会社
- ・ 契約金額 388,310,059円（税込）
- ・ 契約日 2025年2月21日
- ・ 契約期間 2025年2月21日～2025年10月31日

(160) 「アート万博静けさの森インスタレーション」トマス・サラセーノ アート制作・監理業務

- ・ 契約の相手方 Studio Tomas Saraceno GmbH
- ・ 契約金額 126,750,000円（税込）
- ・ 契約日 2025年2月25日
- ・ 契約期間 2025年2月25日～2025年11月15日

(161) 2025年日本国際博覧会 舞洲地区会場外駐車場等警備業務(その2)(変更契約)

- ・ 契約の相手方 テイケイ株式会社
- ・ 契約金額 651,486,000円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 111,269,400円(税込)
- ・ 契約日 2025年2月26日
- ・ 契約期間 2024年1月9日~2025年11月30日

(162) 2025年日本国際博覧会 施設整備事業 静けさの森工区(建設工事)(変更契約)

- ・ 契約の相手方 ジェイロジック・旭工建共同企業体
- ・ 契約金額 1,676,155,800円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 188,955,800円(税込)
- ・ 契約日 2025年2月27日
- ・ 契約期間 2023年8月10日~2025年3月28日

(163) 大阪・関西万博の入場チケット販売促進等のための広報・プロモーション業務(変更契約)

- ・ 契約の相手方 大阪・関西万博の入場チケット販売促進等のための広報・プロモーション業務 EXP02025 共同企業体(代表構成員:株式会社電通)
- ・ 契約金額 1,727,600,000円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 335,000,000円(税込)
- ・ 契約日 2025年2月27日
- ・ 契約期間 2024年8月23日~2025年10月31日

(164) 2025年日本国際博覧会 会期直前における会場警備実施業務

- ・ 契約の相手方 東洋テック株式会社
- ・ 契約金額 183,694,500円(税込)
- ・ 契約日 2025年2月28日
- ・ 契約期間 2025年2月28日~2025年4月12日

(165) 2025年日本国際博覧会公式記録集および公式記録写真集制作等業務

- ・ 契約の相手方 大日本印刷株式会社
- ・ 契約金額 143,737,000円(税込)
- ・ 契約日 2025年3月1日
- ・ 契約期間 2025年3月1日~2026年6月30日

(166) 大阪・関西万博メディアプラン業務(変更契約)

- ・ 契約の相手方 株式会社電通
- ・ 契約金額 1, 578, 574, 003円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 399, 993, 000円(税込)
- ・ 契約日 2025年3月3日
- ・ 契約期間 2024年10月2日~2025年7月31日

(167) 2025年日本国際博覧会 夢洲身障者駐車場等警備業務(変更契約)

- ・ 契約の相手方 2025年日本国際博覧会 夢洲身障者駐車場警備共同企業体
- ・ 契約金額 1, 250, 898, 000円(税込)
- ・ 変更金額(増額) 166, 298, 000円(税込)
- ・ 契約日 2025年3月3日
- ・ 契約期間 2024年1月9日~2025年11月30日

(168) 2025年日本国際博覧会「大地球儀」内外装工事及び運営管理業務

- ・ 契約の相手方 株式会社ADKマーケティング・ソリューションズ
- ・ 契約金額 136, 929, 100円(税込)
- ・ 契約日 2025年3月4日
- ・ 契約期間 2025年3月4日~2025年12月13日

(169) 2025年日本国際博覧会 弁天町駅自由通路等警備業務

- ・ 契約の相手方 株式会社ビケンテクノ
- ・ 契約金額 240, 137, 590円(税込)
- ・ 契約日 2025年3月5日
- ・ 契約期間 2025年3月5日~2025年11月30日

(170) カートの運行等業務委託

- ・ 契約の相手方 株式会社JTB
- ・ 契約金額 337, 655, 080円(税込)
- ・ 契約日 2025年3月5日
- ・ 契約期間 2025年3月5日~2025年12月31日

(171) 2025年日本国際博覧会 入場券販売関連システムサービス提供業務委託(変更契約)

- ・ 契約の相手方 ぴあ・GF・JCD 共同企業体
- ・ 契約金額 2, 656, 959, 600円(税込)

- ・変更金額（増額） 357,108,000円（税込）
- ・契約日 2025年3月6日
- ・契約期間 2022年5月20日～2025年12月31日

(172) 2025年日本国際博覧会 桜島交通ターミナル警備業務(変更契約)

- ・契約の相手方 日本管財株式会社
- ・契約金額 1,525,052,100円（税込）
- ・変更金額（増額） 190,752,100円（税込）
- ・契約日 2025年3月7日
- ・契約期間 2024年1月9日～2025年11月30日

(173) 2025年日本国際博覧会 舞洲地区会場外駐車場等警備業務(その1)(変更契約)

- ・契約の相手方 2025年日本国際博覧会 舞洲地区会場外駐車場(その1)警備共同企業体
- ・契約金額 1,124,288,000円（税込）
- ・変更金額（増額） 142,076,000円（税込）
- ・契約日 2025年3月18日
- ・契約期間 2024年1月9日～2025年11月30日

(174) 2025年日本国際博覧会 桜島交通ターミナル警備業務(変更契約)

- ・契約の相手方 日本管財株式会社
- ・契約金額 1,687,752,000円（税込）
- ・変更金額（増額） 162,699,900円（税込）
- ・契約日 2025年3月19日
- ・契約期間 2024年1月9日～2025年11月30日

(175) 2025年日本国際博覧会 夢洲身障者駐車場等警備業務(その2)

- ・契約の相手方 2025年日本国際博覧会 夢洲身障者駐車場警備共同企業体
- ・契約金額 297,088,000円（税込）
- ・契約日 2025年3月19日
- ・契約期間 2025年3月19日～2025年11月30日

(176) 2025年日本国際博覧会 夢洲交通ターミナル警備業務(その2)

- ・契約の相手方 株式会社エムズジャパンセキュリティ
- ・契約金額 161,648,300円（税込）
- ・契約日 2025年3月19日

・ 契約期間 2025年3月19日～2025年11月30日

(177) 万博会場来場促進に向けたミヤクミヤクブランド強化事業委託

・ 契約の相手方 2025 大阪・関西万博マスターライセンスオフィス
・ 契約金額 249,310,144円(税込)
・ 契約日 2025年3月19日
・ 契約期間 2025年3月19日～2025年10月31日

(178) 2025年日本国際博覧会 夢洲交通ターミナル警備業務(変更契約)

・ 契約の相手方 株式会社エムズジャパンセキュリティ
・ 契約金額 2,671,736,100円(税込)
・ 変更金額(増額) 489,336,100円(税込)
・ 契約日 2025年3月25日
・ 契約期間 2024年1月9日～2025年11月30日

(179) 2025年日本国際博覧会 施設警備実施業務(変更契約)

・ 契約の相手方 総合警備保障株式会社
・ 契約金額 7,524,826,631円(税込)
・ 変更金額(増額) 598,995,700円(税込)
・ 契約日 2025年3月26日
・ 契約期間 2024年2月1日～2025年11月30日

(180) 2025年日本国際博覧会 施設整備事業 PW南東工区(工事請負)(変更契約)

・ 契約の相手方 清水・東急・村本・青木あすなろ共同企業体
・ 契約金額 26,369,805,000円(税込)
・ 変更金額(増額) 196,544,700円(税込)
・ 契約日 2025年3月28日
・ 契約期間 2023年4月19日～2025年5月30日

(181) 2025年日本国際博覧会テーマ事業「いのちの輝きプロジェクト(シグネチャープロジェクト)におけるユニットNo.1『いのちを知る』『いのちを育む』実施製作統括管理業務(変更契約)

・ 契約の相手方 株式会社博報堂
・ 契約金額 3,153,247,000円(税込)
・ 変更金額(増額) 323,404,000円(税込)
・ 契約日 2025年3月28日

・ 契約期間 2022年12月16日～2025年12月31日

(182) 2025年日本国際博覧会 会場内警備カメラ等ネットワーク構築及び放送スピーカー設置等工事（工事請負）（変更契約）

・ 契約の相手方 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
・ 契約金額 1,412,430,822円（税込）
・ 変更金額（増額）289,330,822円（税込）
・ 契約日 2025年3月31日
・ 契約期間 2024年6月4日～2025年3月31日

(183) 音楽著作物利用許諾契約

・ 契約の相手方 一般社団法人日本音楽著作権協会
・ 契約金額 236,843,000円（税込）
・ 契約日 2025年3月31日
・ 契約期間 2025年3月31日～2026年3月31日

(184) 2025年日本国際博覧会 公式参加者催事業務（公式参加者催事運営・支援業務）

・ 契約の相手方 JCD・電通ライブ共同企業体
・ 契約金額 296,450,000円（税込）
・ 契約日 2025年3月31日
・ 契約期間 2025年4月1日～2025年11月28日

(185) 2025年度 途上国支援対象タイプB館の運営準備及び運営業務

・ 契約の相手方 途上国支援対象タイプB館運営準備業務共同企業体
・ 契約金額 622,964,500円（税込）
・ 契約日 2025年3月31日
・ 契約期間 2025年4月1日～2026年3月31日

10 資金の確保

(1) 寄附金収入 9,102,942,929円
1 一般寄附金 19,140,000円
2 特別寄附金 9,083,802,929円
※現物寄附は除く

(2) 補助金収入 91,317,767,800円
1 国庫補助金 45,658,883,900円
2 地方公共団体補助金等 45,658,883,900円

事業報告書の附属明細書

2024年度事業報告（2024年4月1日から2025年3月31日まで）には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」として記載すべきことはない。